第２章　南風原町の現状と課題

１．人口の推移と推計

(1)南風原町の児童人口

①０～５歳児（就学前児童）

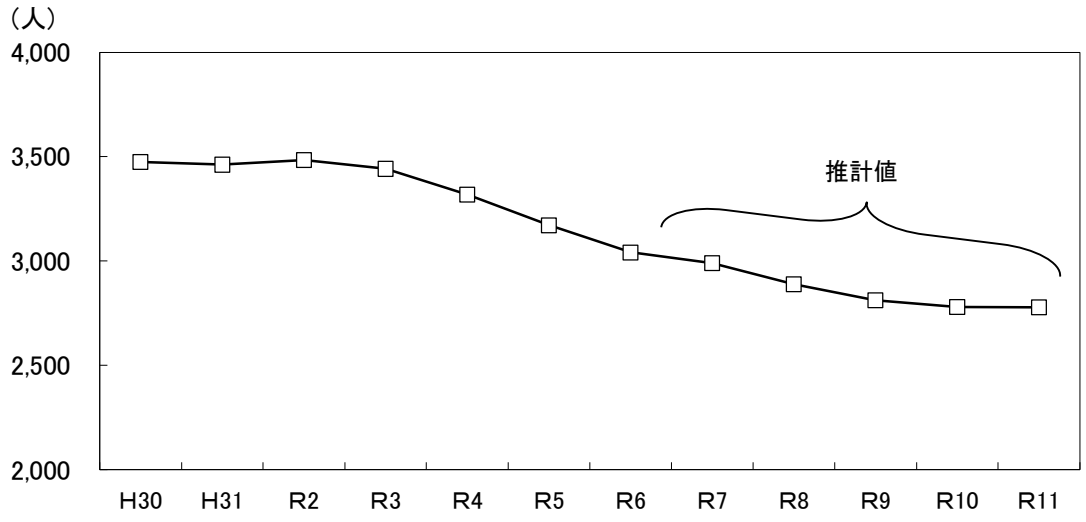
０～５歳児の就学前児童人口は、令和３年以降、減少を続けており、また前年からの減少人数が 100 人を超える状況にあります。令和６年の実績人口は 3,041 人で、前年よりも 131 人減となっています。

今後の推計においても、就学前児童は減少すると予測されます。第３期計画においては、令和７年が 2,990 人、中間年の令和９年は 2,812 人、第３期計画最終年の令和 11 年には 2,778 人となり、令和６年実績より 263 人減少すると見込まれます。

実績値	H30	H31	R２	R３	R４	R５	R６
実績人口	3,475	3,461	3,484	3,442	3,318	3,172	3,041
前年からの増加人数	－	▲14	23	▲42	▲124	▲146	▲131

						R６実績からの増加分		
推計値	R７	R８	R９	R10	R11	R6→R7	R6→R9	R6→R11
０～５歳児推計値	2,990	2,888	2,812	2,779	2,778	▲ 51	▲ 229	▲ 263
前年からの増加人数	▲51	▲102	▲76	▲33	▲1	－	－	－

０～５歳児人口



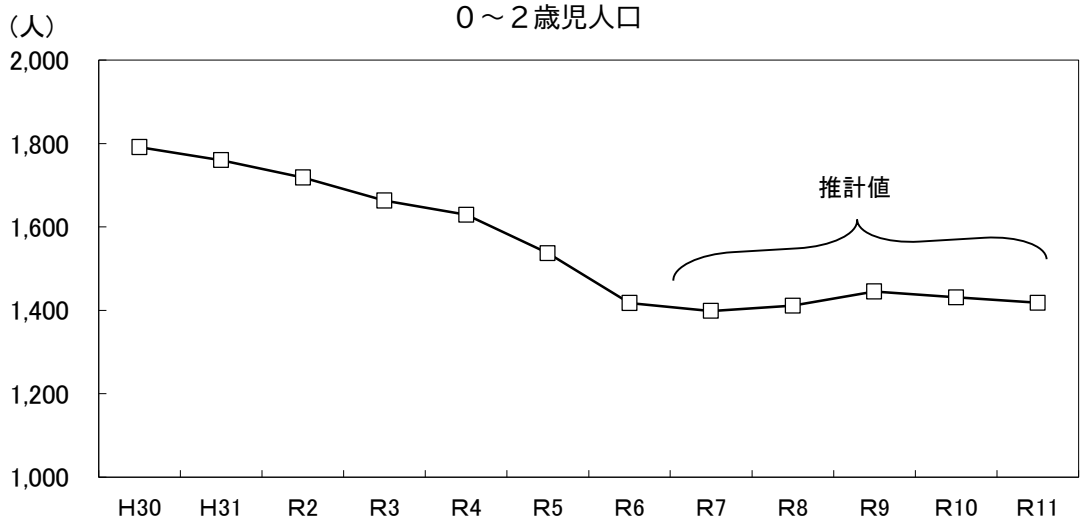
②０～２歳児

０～２歳児の人口は、平成 30 年以降、減少を続けており、また前年からの減少幅が年々大きくなっていく傾向にあります。令和６年の実績人口は 1,417 人で、前年よりも 120 人減となっています。

今後の推計では、令和８年、９年は増加するものの、その他の年は減少すると予測されます。第３期計画においては、令和７年が 1,398 人、中間年の令和９年は 1,445 人、第３期計画最終年の令和 11 年には 1,418 人となり、令和６年実績より 1 人増と、ほぼ同数を維持すると見込まれます。

実績値	H30	H31	R２	R３	R４	R５	R６
実績人口	1,791	1,760	1,718	1,663	1,629	1,537	1,417
前年からの増加人数	－	▲31	▲42	▲55	▲34	▲92	▲120

						R６実績からの増加分		
推計値	R７	R８	R９	R10	R11	R6→R7	R6→R9	R6→R11
０～２歳児推計値	1,398	1,411	1,445	1,431	1,418	▲ 19	28	1
前年からの増加人数	▲19	13	34	▲14	▲13	－	－	－



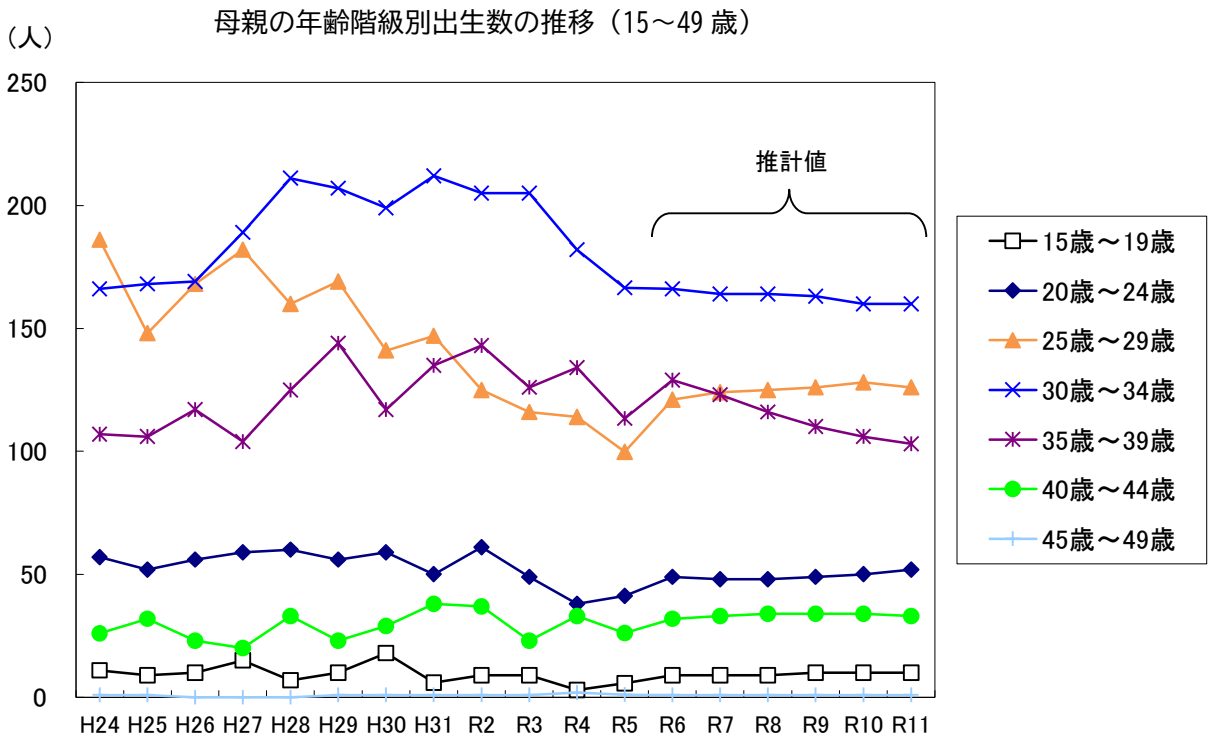
	H30	H31	R２	R３	R４	R５	R６	R７	R８	R９	R10	R11
０歳児	582	544	585	547	511	483	447	492	487	482	478	474
１歳児	626	593	544	583	548	506	468	442	486	481	476	472
２歳児	583	623	589	533	570	548	502	464	438	482	477	472

０歳児についてみると、出生数は緩やかに減少すると予測されます。南風原町の合計特殊出生率は 2.05 前後で推移し、高い出生率となっていますが、出生数に影響する「こどもを産む世代の女性人口」が減少傾向となっています。特に、こどもを多く産むのは 25～39 歳の世代ですが、25～29 歳は増加が見込まれるものの、30～34 歳、35～39 歳では減少傾向にあり、出生数の大きな増加は見込まれません。

（参考）母親の年齢階級別出生数の推移

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R２
15 歳～19 歳	11	9	10	15	7	10	18	6	9
20 歳～24 歳	57	52	56	59	60	56	59	50	61
25 歳～29 歳	186	148	168	182	160	169	141	147	125
30 歳～34 歳	166	168	169	189	211	207	199	212	205
35 歳～39 歳	107	106	117	104	125	144	117	135	143
40 歳～44 歳	26	32	23	20	33	23	29	38	37
45 歳～49 歳	1	1	0	0	0	1	1	1	1
総計	554	516	543	569	596	610	564	589	581

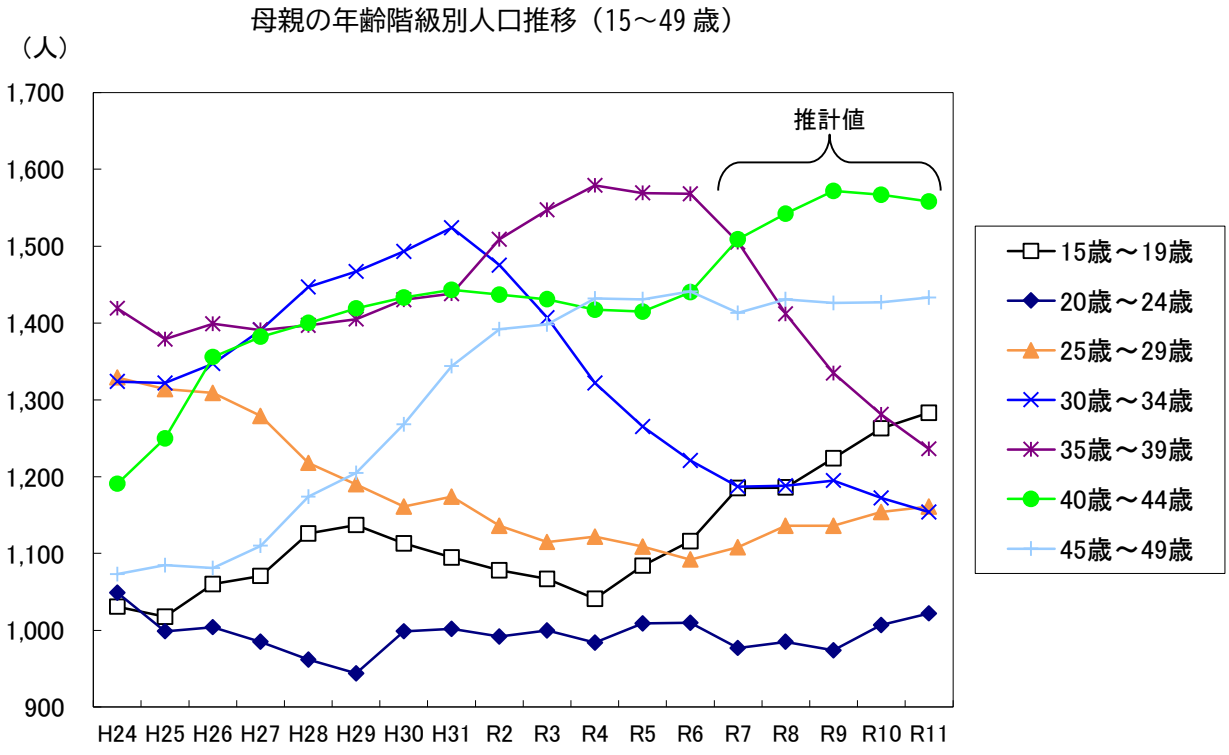
	R３	R４	R５	R６	R７	R８	R９	R10	R11
15 歳～19 歳	9	3	6	9	9	9	10	10	10
20 歳～24 歳	49	38	41	49	48	48	49	50	52
25 歳～29 歳	116	114	100	121	124	125	126	128	126
30 歳～34 歳	205	182	166	166	164	164	163	160	160
35 歳～39 歳	126	134	113	129	123	116	110	106	103
40 歳～44 歳	23	33	26	32	33	34	34	34	33
45 歳～49 歳	1	2	1	1	1	1	1	1	1
総計	529	506	454	507	502	497	493	489	485



（参考）母親の年齢階級別人口推移

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R２
15 歳～19 歳	1,031	1,018	1,060	1,071	1,126	1,137	1,113	1,095	1,078
20 歳～24 歳	1,049	999	1,004	985	962	944	999	1,002	992
25 歳～29 歳	1,329	1,314	1,309	1,279	1,218	1,190	1,161	1,174	1,136
30 歳～34 歳	1,324	1,322	1,347	1,391	1,447	1,467	1,493	1,524	1,475
35 歳～39 歳	1,419	1,379	1,399	1,391	1,397	1,405	1,430	1,438	1,509
40 歳～44 歳	1,191	1,250	1,356	1,382	1,400	1,419	1,433	1,443	1,437
45 歳～49 歳	1,073	1,085	1,081	1,110	1,174	1,205	1,268	1,344	1,392
総計	8,416	8,367	8,556	8,609	8,724	8,767	8,897	9,020	9,019

	R３	R４	R５	R６	R７	R８	R９	R10	R11
15 歳～19 歳	1,067	1,041	1,084	1,116	1,185	1,186	1,224	1,263	1,283
20 歳～24 歳	1,000	984	1,009	1,010	977	985	974	1,007	1,022
25 歳～29 歳	1,115	1,122	1,109	1,092	1,108	1,136	1,136	1,154	1,161
30 歳～34 歳	1,407	1,322	1,265	1,221	1,187	1,188	1,195	1,172	1,154
35 歳～39 歳	1,547	1,579	1,569	1,568	1,505	1,412	1,335	1,281	1,236
40 歳～44 歳	1,431	1,417	1,415	1,440	1,509	1,542	1,572	1,567	1,558
45 歳～49 歳	1,398	1,432	1,431	1,441	1,413	1,431	1,426	1,427	1,433
総計	8,965	8,897	8,882	8,888	8,884	8,880	8,862	8,871	8,847



（参考）母親の年齢階級別出生率

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R２
15 歳～19 歳	0.01067	0.00884	0.00943	0.01401	0.00622	0.00880	0.01617	0.00548	0.00835
20 歳～24 歳	0.05434	0.05205	0.05578	0.05990	0.06237	0.05932	0.05906	0.04990	0.06149
25 歳～29 歳	0.13995	0.11263	0.12834	0.14230	0.13136	0.14202	0.12145	0.12521	0.11004
30 歳～34 歳	0.12538	0.12708	0.12546	0.13587	0.14582	0.14110	0.13329	0.13911	0.13898
35 歳～39 歳	0.07541	0.07687	0.08363	0.07477	0.08948	0.10249	0.08182	0.09388	0.09476
40 歳～44 歳	0.02183	0.02560	0.01696	0.01447	0.02357	0.01621	0.02024	0.02633	0.02575
45 歳～49 歳	0.00093	0.00092	0.00000	0.00000	0.00000	0.00083	0.00079	0.00074	0.00072
合計特殊出生率	2.15	2.02	2.10	2.21	2.30	2.36	2.17	2.21	2.21

	R３	R４	R５	R６	R７	R８	R９	R10	R11
15 歳～19 歳	0.00843	0.00288	0.00537	0.00806	0.00806	0.00806	0.00806	0.00806	0.00806
20 歳～24 歳	0.04900	0.03862	0.04090	0.04851	0.04851	0.04851	0.04851	0.04851	0.04851
25 歳～29 歳	0.10404	0.10160	0.09003	0.11081	0.11081	0.11081	0.11081	0.11081	0.11081
30 歳～34 歳	0.14570	0.13767	0.13160	0.13595	0.13595	0.13595	0.13595	0.13595	0.13595
35 歳～39 歳	0.08145	0.08486	0.07226	0.08227	0.08227	0.08227	0.08227	0.08227	0.08227
40 歳～44 歳	0.01607	0.02329	0.01844	0.02222	0.02222	0.02222	0.02222	0.02222	0.02222
45 歳～49 歳	0.00072	0.00140	0.00080	0.00069	0.00069	0.00069	0.00069	0.00069	0.00069
合計特殊出生率	2.03	1.96	1.80	2.05	2.05	2.05	2.05	2.05	2.05

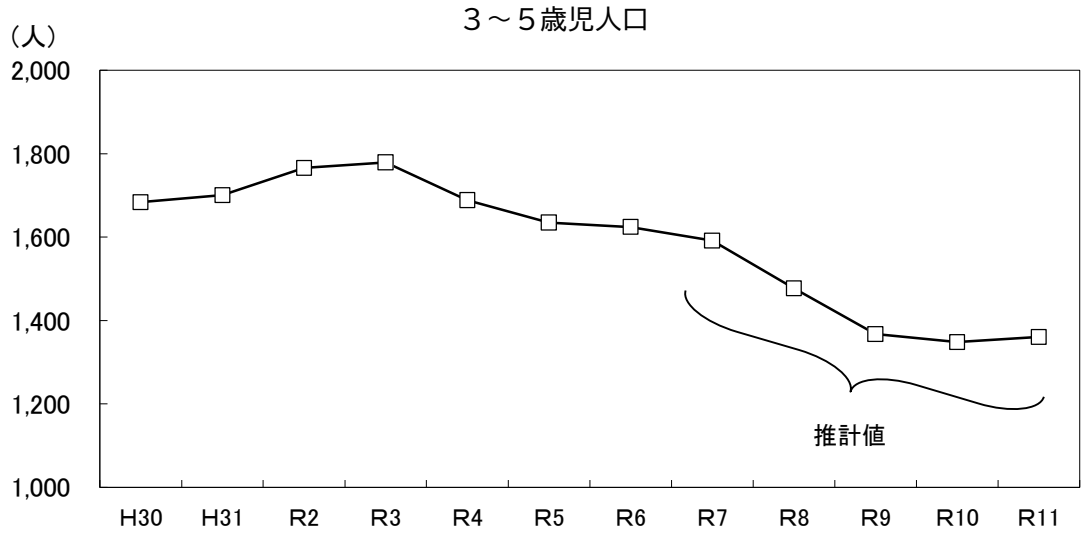
③３～５歳児

３～５歳児の人口は、令和３年まで増加していたものの、令和４年以降は減少に転じています。令和６年の実績人口は 1,624 人で、前年よりも 11 人減となっています。

今後の推計では、令和 10 年まで減少すると予測されます。第３期計画においては、令和７年が 1,592 人、中間年の令和９年は 1,367 人、第３期計画最終年の令和 11 年には 1,360 人となり、令和６年実績より 264 人減少すると見込まれます。

実績値	H30	H31	R２	R３	R４	R５	R６
実績人口	1,684	1,701	1,766	1,779	1,689	1,635	1,624
前年からの増加人数	－	17	65	13	▲90	▲54	▲11

						R６実績からの増加分		
推計値	R７	R８	R９	R10	R11	R6→R7	R6→R9	R6→R11
３～５歳児推計値	1,592	1,477	1,367	1,348	1,360	▲ 32	▲ 257	▲ 264
前年からの増加人数	▲32	▲115	▲110	▲19	12	－	－	－



	H30	H31	R２	R３	R４	R５	R６	R７	R８	R９	R10	R11
３歳児	537	578	616	583	529	566	546	499	461	435	479	474
４歳児	566	554	593	611	563	514	565	535	488	451	425	468
５歳児	581	569	557	585	597	555	513	558	528	481	444	418

④６～11 歳児（小学生）

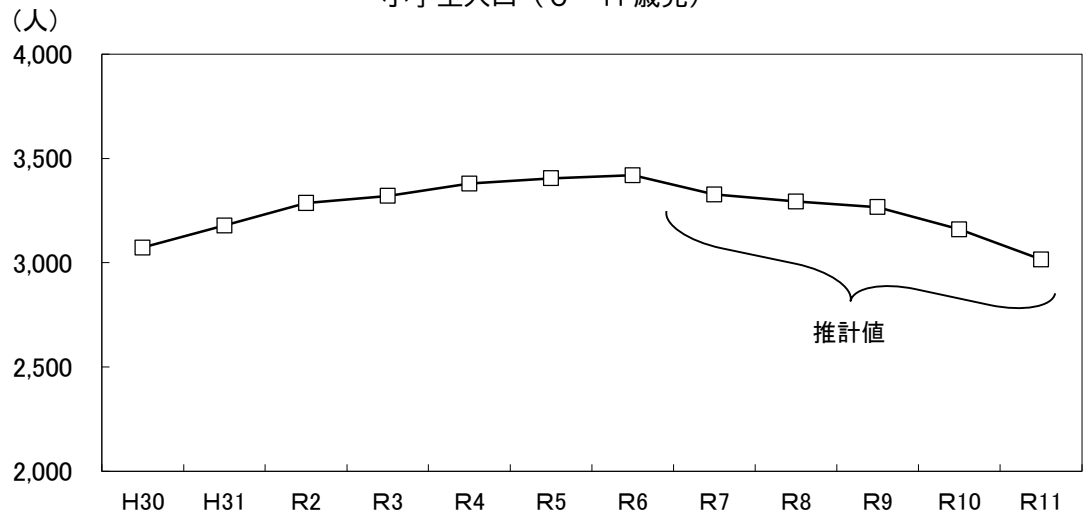
６～11 歳児の小学生児童人口は各年とも増加で推移していますが、前年からの増加人数は年々少なくなってきています。令和６年の実績人口は 3,419 人で、前年より 13 人増加していますが、平成 30 年以降では最も少ない増加人数となっています。

今後の推計においては、就学前児童人口の減少が影響し、小学生も減少していくと予測されます。第３期計画においては、令和７年が 3,328 人、中間年の令和９年は 3,266 人、第３期計画最終年の令和 11 年には 3,016 人となり、令和６年実績より 403 人減少すると見込まれます。

実績値	H30	H31	R２	R３	R４	R５	R６
実績人口	3,073	3,179	3,286	3,321	3,380	3,406	3,419
前年からの増加人数	－	106	107	35	59	26	13

						R６実績からの増加分		
推計値	R７	R８	R９	R10	R11	R6→R7	R6→R9	R6→R11
６～11 歳児推計値	3,328	3,294	3,266	3,160	3,016	▲ 91	▲ 153	▲ 403
前年からの増加人数	▲91	▲34	▲28	▲106	▲144	－	－	－

小学生人口（６～11 歳児）



	H30	H31	R２	R３	R４	R５	R６	R７	R８	R９	R10	R11
６歳児	542	593	584	549	582	579	552	506	550	521	474	437
７歳児	536	544	590	583	549	579	580	551	505	549	520	473
８歳児	504	540	544	590	583	546	577	578	549	503	547	518
９歳児	514	508	540	542	590	576	543	574	575	546	500	544
10 歳児	473	514	510	542	538	590	578	543	574	575	546	500
11 歳児	504	480	518	515	538	536	589	576	541	572	573	544

２．教育・保育施設や子育て支援事業等の状況

(1)教育・保育施設等の定員数

①教育・保育施設等の定員数の推移

町内の教育・保育施設等の定員数を見ると、令和６年度では、１号認定は公立幼稚園や認定こども園の 780 人、２号認定は認可保育所(園)や認定こども園の 955 人、３号認定は認可保育所(園)や認定こども園、小規模保育、事業所内保育による 1,116 人となっています。令和２年度以降の推移を見ると、各認定区分とも定員数は増加しており、特に２号認定、３号認定は、保育ニーズの上昇に対し、受け皿の整備を進めてきたことがわかります。

（定員ベース）　　単位：人

	令和２年度				令和３年度				令和４年度			
	１号	２号	３号	計	１号	２号	３号	計	１号	２号	３号	計
公立幼稚園	630			630	630			630	690			690
私立幼稚園	0			0	0			0	0			0
認可保育所(園)		803	898	1,701		905	958	1,863		916	977	1,893
認定こども園	90	60	0	150	90	60	18	168	90	60	18	168
小規模保育			75	75			75	75			94	94
事業所内保育			10	10			10	10			10	10
計	720	863	983	2,566	720	965	1,061	2,746	780	976	1,099	2,855
１号､２･３号別計	720		1,846	2,566	720		2,026	2,746	780		2,075	2,855

（定員ベース）　　単位：人

	令和５年度				令和６年度			
	１号	２号	３号	計	１号	２号	３号	計
公立幼稚園	690			690	690			690
私立幼稚園	0			0	0			0
認可保育所(園)		895	995	1,890		895	994	1,889
認定こども園	90	60	18	168	90	60	18	168
小規模保育			94	94			94	94
事業所内保育			10	10			10	10
計	780	955	1,117	2,852	780	955	1,116	2,851
１号､２･３号別計	780		2,072	2,852	780		2,071	2,851

各年度４月１日現在

※事業所内保育については、地域枠の定員のみ計上

(2)幼稚園

①公立幼稚園利用状況

公立幼稚園の利用状況を見ると、令和６年度では町内の４園で 475 人が利用しています。すべての園で４歳児からの受け入れを行っています。

利用数の推移を見ると、令和３年度の 534 人をピークに減少しています。特に５歳児の利用人数の減少が大きくなっています。

公立幼稚園利用園児数推移　　単位：人

（１号）	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
３歳児	0	0	0	0	0	0
４歳児	136	134	147	126	131	124
５歳児	390	363	387	380	364	351
計	526	497	534	506	495	475

各年度４月現在

①-1 午後の預かり保育の利用推移

公立幼稚園での午後の預かり保育の状況を見ると、令和元年度は利用園児の 80.42％が利用、令和６年度は 92.63％が利用しており、預かり保育のニーズが上昇していることがわかります。

公立幼稚園　午後の預かり保育の利用推移　　単位：人

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
園数(か所)	4	4	4	4	4	4
園児数(人)	526	497	534	506	495	475
預かり人数(人)	423	423	463	447	454	440
預かり利用割合(％)	80.42	85.11	86.70	88.34	91.71	92.63

各年度４月１日現在

公立幼稚園別　午後の預かり保育の利用推移　　単位：人

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
南風原幼稚園	112	121	127	119	97	91
津嘉山幼稚園	151	142	164	173	177	176
北丘幼稚園	90	87	79	96	112	101
翔南幼稚園	70	73	93	59	68	72
計	423	423	463	447	454	440

各年度４月１日現在

公立幼稚園　午後の預かり保育の利用状況（年齢別）　　単位：人

施設名	定員				利用園児数			
	計	３歳児	４歳児	５歳児	計	３歳児	４歳児	５歳児
南風原幼稚園	180	0	60	120	91	0	28	63
津嘉山幼稚園	210	0	60	150	176	0	39	137
北丘幼稚園	180	0	60	120	101	0	23	78
翔南幼稚園	120	0	30	90	72	0	20	52
計	690	0	210	480	440	0	110	330

令和６年４月１日現在

②私立幼稚園利用園児数

町内の私立幼稚園の利用者は令和６年度では 12 人となっています。年度によって増減はありますが、令和３年度以降は 10 人前後の利用で推移しています。

私立幼稚園　利用園児数推移　　単位：人

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
３歳児	1	4	3	1	9	4
４歳児	0	3	3	3	1	7
５歳児	1	1	5	5	1	1
計	2	8	11	9	11	12

各年度４月１日現在
※町在住で、私立幼稚園(町外含む)に通っている園児数

(3)保育施設等（認可保育所(園)、認定こども園、地域型保育事業所等）

①申込者数の推移

保育施設等の申し込み状況を見ると、令和元年度の 2,096 人が令和２年度には 2,126 人に増加していますが、以降は減少に転じ、令和６年度は 2,027 人と、令和元年度の申込者数を下回っています。また、０～２歳児の低年齢児の申し込みは減少している一方で、３歳以上児は増加傾向で推移しています。

保育施設等申込者数推移（４月）　　単位：人

		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
３号	０歳児	214	244	210	195	189	166
	１歳児	475	443	467	436	416	404
	２歳児	471	453	450	486	455	440
２号	３歳児	433	459	468	451	482	469
	４歳児	364	378	381	381	354	399
	５歳児	139	149	145	167	153	149
総数		2,096	2,126	2,121	2,116	2,049	2,027
０～２歳児（３号）		1,160	1,140	1,127	1,117	1,060	1,010
３～５歳児（２号）		936	986	994	999	989	1,017

各年４月１日現在

②利用人数の推移

保育施設等の４月の利用人数について見ると、令和元年度から令和４年度まで増加していましたが、その後は減少し、令和６年度は 2,007 人となっています。また、10 月では、４月と比べ、育休・産休明けによる０歳児の利用が増加する傾向にあります。

町内保育施設等利用園児数推移（４月）　単位：人

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
０歳	203	224	206	190	181	164
１歳	362	354	403	416	405	396
２歳	408	389	447	463	452	438
３歳	406	406	465	449	467	461
４歳	363	375	381	381	354	399
５歳	139	149	145	167	153	149
計	1,881	1,897	2,047	2,066	2,012	2,007

各年４月１日現在（南風原町外の認可保育所(園)・認定こども園・地域型保育事業所等に通っている児童も含む）

町内保育施設等利用園児数推移（10 月）　単位：人

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
０歳	241	273	263	251	250	257
１歳	386	392	417	427	414	406
２歳	414	430	449	464	461	441
３歳	407	452	460	452	474	468
４歳	363	377	377	375	350	402
５歳	135	148	144	166	152	149
計	1,946	2,072	2,110	2,135	2,101	2,123

各年 10 月１日現在（南風原町外の認可保育所(園)・認定こども園・地域型保育事業所等に通っている児童も含む）

③保育施設等定員と利用児童数の推移（認可保育所(園)、認定こども園、地域型保育事業所等）

保育施設等の定員を見ると、令和元年度は 1,907 人であるのに対し、令和６年度は 2,093 人と増加しています。利用児童数は各年とも定員数を下回っており、令和４年度以降は、90 人前後の差が見られます。

保育施設等定員と利用児童数の推移　単位：人

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
定員	1,907	1,936	2,116	2,165	2,093	2,093
利用児童数	1,881	1,897	2,047	2,066	2,011	2,007

各年４月１日現在

④認定こども園

令和６年４現在、町内には認定こども園が１園あり、１号認定では令和６年度で７人が利用しています。共働き世帯の増加により、１号認定利用者数は減少していると見られます。

町内認定こども園利用園児数推移（１号）（４月）　単位：人

	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
３歳	13	5	5	5	3
４歳	11	12	4	3	3
５歳	11	7	4	4	1
計	35	24	13	12	7

各年度４月１日現在　町民のみ

⑤待機児童数の推移

待機児童数は、令和元年度の 208 人から減少し、令和６年度は 0 人となっています。また、４月時点では１歳児、10 月時点では０歳児で待機児童が多くなる傾向にあります。０歳児は、産休・育休明けでの利用ニーズにより、年度途中での保育利用希望が増えます。

待機児童数（４月）　単位：人

		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
３号	０歳児	7	14	0	0	0	0
	１歳児	112	81	39	0	1	0
	２歳児	63	47	1	16	0	0
２号	３歳児	25	49	0	0	9	0
	４歳児	1	3	0	0	0	0
	５歳児	0	0	0	0	0	0
総数		208	194	40	16	10	0
０～２歳児（３号）		182	142	40	16	1	0
３～５歳児（２号）		26	52	0	0	9	0

各年４月１日現在

待機児童数（10 月）　単位：人

		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
３号	０歳児	102	60	69	58	51	49
	１歳児	102	53	18	18	8	4
	２歳児	66	29	5	12	3	2
２号	３歳児	23	8	2	0	8	7
	４歳児	1	1	0	0	0	0
	５歳児	0	0	0	0	0	0
総数		294	151	94	88	70	62
０～２歳児（３号）		270	142	92	88	62	55
３～５歳児（２号）		24	9	2	0	8	7

各年 10 月１日現在

(4)子ども・子育て支援の状況

①ファミリーサポートセンター事業

ファミリーサポートセンターの会員数について見ると、令和６年度ではおねがい会員が 423 人、サポート会員が 119 人、両方会員が 58 人であり、おねがい会員に比べてこどもを預かるサポート会員・両方会員が少ない状況となっています。

会員数の推移　　単位：人

	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
おねがい会員	457	381	361	390	423
サポート会員	106	106	104	107	119
両方会員	68	69	64	58	58

各年４月１日現在

②放課後児童クラブの推移

放課後児童クラブについて見ると、令和６年度で 26 カ所あり、1,030 人が利用しています。学年別に見ると１・２年生での利用が非常に多くなっており、高学年になると利用は少なくなりますが、４・５年生での利用者も増加傾向で推移しています。

放課後児童クラブの推移　　単位：カ所、人

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
クラブ数	21	24	25	25	25	26
利用児童数	857	884	933	947	968	1,030
１年生	298	275	311	310	291	312
２年生	248	276	271	284	291	297
３年生	177	188	204	191	214	235
４年生	86	97	100	105	110	129
５年生	29	32	35	39	45	43
６年生	19	16	12	18	17	14

各年度５月現在

(5)認可外保育施設

①認可外保育施設の推移

町内の認可外保育施設は令和６年度で８カ所となっており、町内からは 63 人が利用しています。施設数、利用園児数とも、令和元年度以降、減少しています。

施設数・利用園児数推移　　単位：カ所、人

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
施設数	13	14	11	10	9	8
利用園児数	394	343	237	157	147	134
町内在住児	247	206	120	70	64	63

各年度４月現在

(6)その他

①放課後子ども教室の推移

町では、令和２年度以降、放課後子ども教室を４カ所で実施しています。

放課後子ども教室数　　単位：カ所

	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
小学校	4	4	4	4	4

②児童館の推移

町内の児童館は４カ所あり、年間の利用者数は令和５年度で延べ 38,614 人となっています。小学校低学年での利用が多くなっています。

児童館利用者数　　単位：カ所、人

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
児童館数	4	4	4	4	4
延べ利用児童数計	40,144	29,069	31,695	34,632	38,614
未就学児	867	430	1,835	1,558	1,835
１年生	6,505	4,641	3,459	5,383	7,608
２年生	7,021	7,120	3,953	3,504	5,578
３年生	7,001	4,085	5,630	4,490	4,300
４年生	6,222	3,445	4,266	6,036	4,523
５年生	5,280	3,531	3,337	4,520	4,846
６年生	4,022	2,797	5,000	3,174	4,470
中学生・高校生	3,226	3,020	4,215	5,967	5,454

３．子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査結果より

(1)調査の概要

①調査の目的

令和６年度に策定する「第３期子ども・子育て支援事業計画」の基礎資料とするため、就学前の教育・保育施設等の利用や小学生の放課後児童クラブなどのニーズ及び子育て家庭の実態を把握するために本調査を実施した。

②調査の対象者

町内に在住する就学前児童と小学生（１～６年生）の保護者を調査対象とした２種類の調査を実施した。

就学前児童保護者調査は一世帯に複数の調査票が配布されないように調整し無作為抽出、小学生保護者調査は学校在籍児童全数を対象に配布した。

③調査方法

就学前児童保護者調査　……　郵送による発送・回収（ＷＥＢ回答を併用）
小学生保護者調査（１年～６年生）　……　学校を通じての配布・回収（ＷＥＢ回答を併用）

④調査期間

令和６年５月～６月（就学前：５月 31 日～６月 28 日）
（小学生：５月 27 日～６月 28 日）

⑤回収率

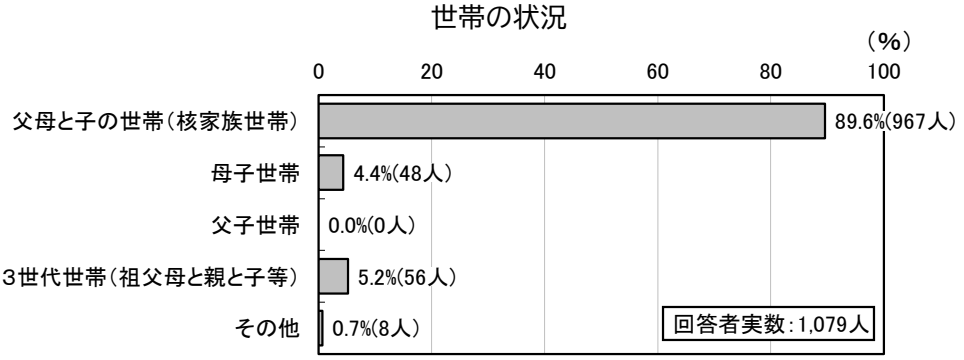
		配布件数	回収件数	回収率
就学前児童保護者調査		2,400 件	1,079 件	45.0%
	内ＷＥＢ回答	－	349 件	14.5%
小学生保護者調査		1,409 件	755 件	53.6%
	内ＷＥＢ回答	－	253 件	18.0%

(2)就学前児童調査の調査結果より

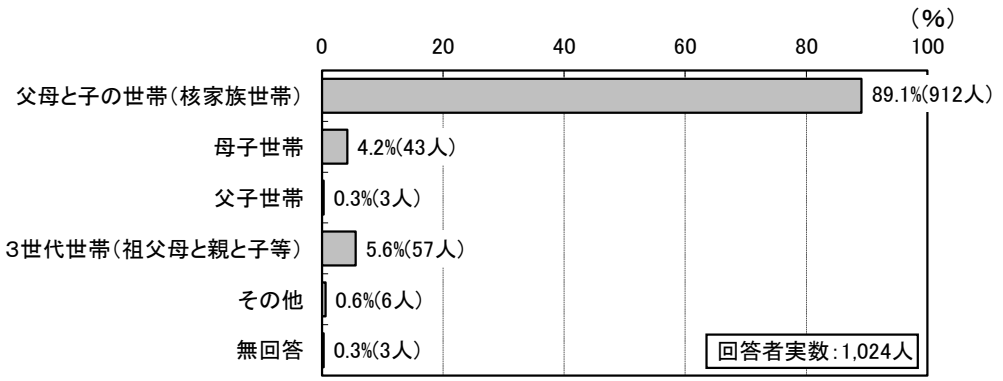
(2)-1 子育て家庭の状況

①世帯の状況

「核家族世帯」が 89.6％と全体のほぼ９割を占めている。「３世代世帯」は 5.2％、「母子世帯」は 4.4％となっている。家族構成は、前回調査時と大きな差はない。



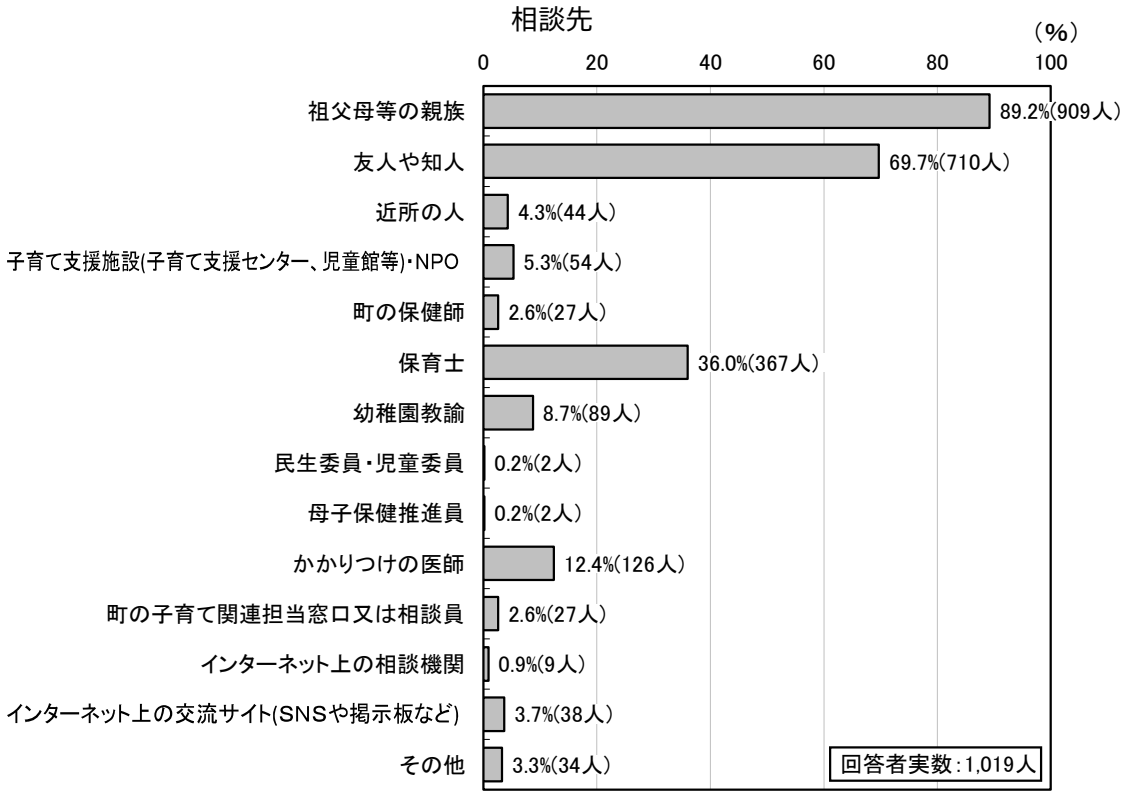
（前回）



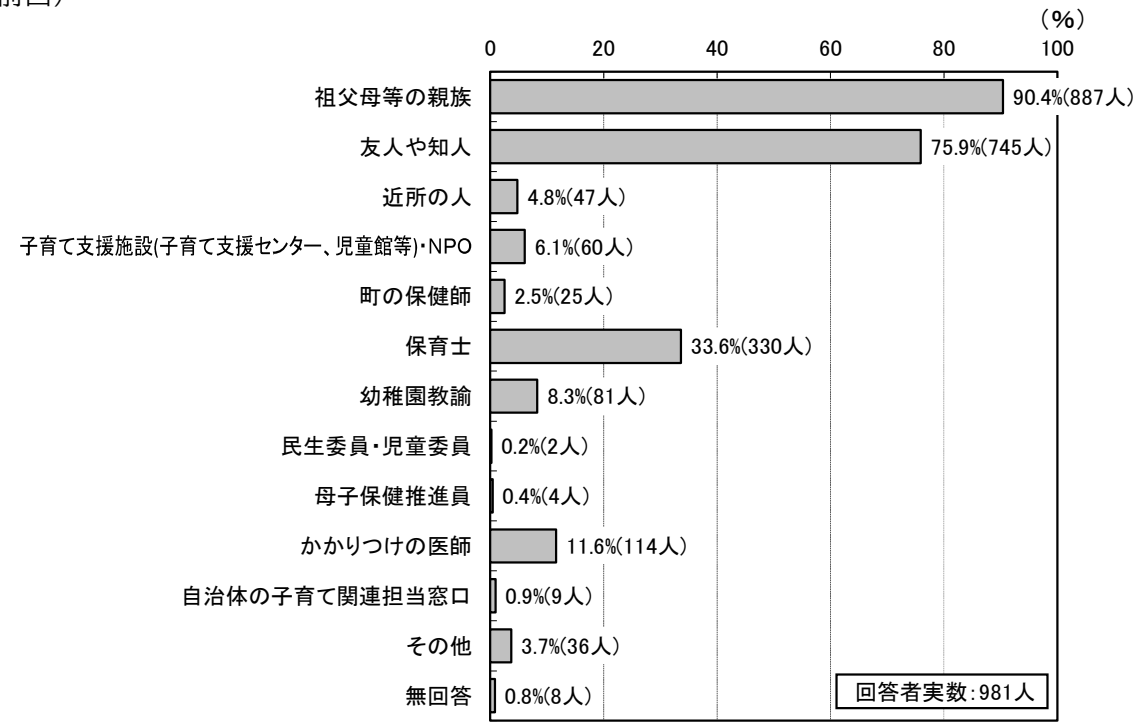
②相談先

相談先としては、身近な人への相談がとても高い。また、保育士への相談がやや高い傾向にある。専門的な相談先(「町の子育て関連担当窓口又は相談員」など)の利用は低い。

調査結果は、前回調査時と大きな差はないが、「町の子育て関連担当窓口又は相談員」は、前回の 0.9%が今回は 2.6%に上昇している。



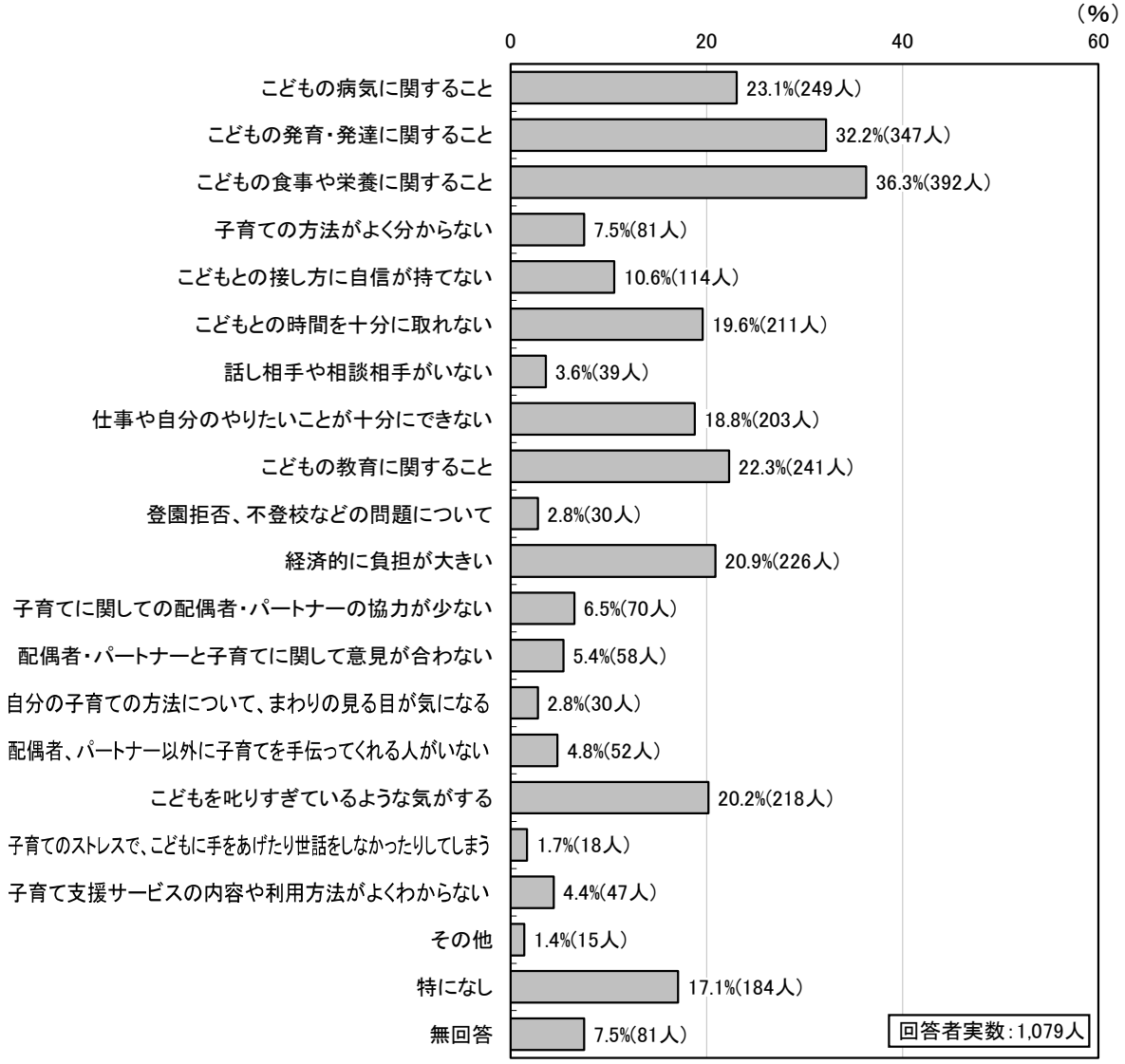
(前回)



③悩み事、困っていることの内容

「食事・栄養」、「発達・発育」といった、こどもの体のことについての悩み・困りごとが多い。また、「こどもの病気」、「こどもの教育」、「経済的負担」、「叱りすぎてはいないかという不安」といった悩みも比較的高く見られる。

悩み事、困っていることの内容



保育施設の利用有無別に悩み事・困りごとをみると、利用していない保護者の方で、「発育・発達」、「食事・栄養」、「地域の子育てサービスの内容」等が高くなっている。

保育施設を利用している保護者では、「こどもとの時間が取れない」、「叱りすぎているような気がする」、「経済的負担」が多く、保育施設の利用有無によって、抱えている悩みや困りごとに違いが見られる。

相談や保護者支援においては、こういった点を踏まえた対応が必要である。

教育・保育サービスの利用有無別　悩み事、困っていることの内容

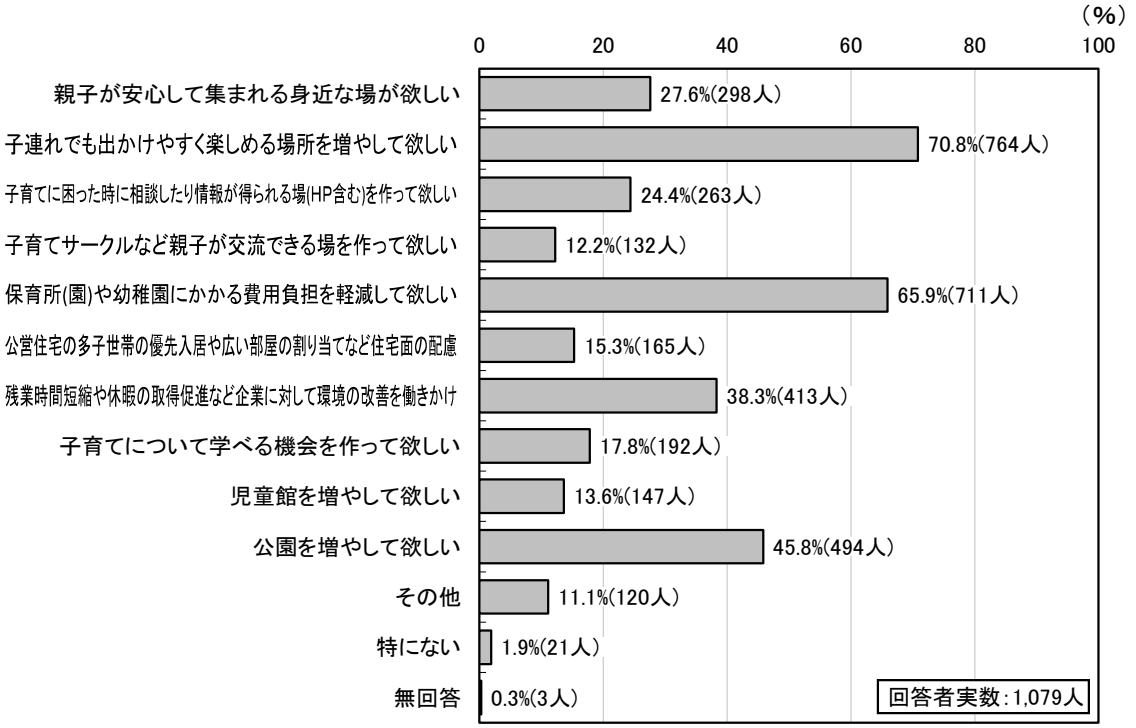
	回答者実数	こどもの病気に関すること	こどもの発育・発達に関すること	こどもの食事や栄養に関すること	子育ての方法がよく分からない	こどもとの接し方に自信が持てない	こどもとの時間を十分に取れない	話し相手や相談相手がいない	仕事や自分のやりたいことが十分にできない	こどもの教育に関すること	登園拒否、不登校などの問題について	経済的に負担が大きい
利用している	912人	23.1%（211人）	31.0%（283人）	35.6%（325人）	7.2%（66人）	10.5%（96人）	22.0%（201人）	3.1%（28人）	19.2%（175人）	22.6%（206人）	3.0%（27人）	22.3%（203人）
利用していない	166人	22.3%（37人）	38.0%（63人）	39.8%（66人）	9.0%（15人）	10.8%（18人）	6.0%（10人）	6.6%（11人）	16.9%（28人）	21.1%（35人）	1.8%（ 3人）	13.9%（23人）

	回答者実数	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ない	配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わない	自分の子育ての方法について、まわりの見る目が気になる	配偶者、パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいない	こどもを叱りすぎているような気がする	子育てのストレスで、こどもに手をあげたり世話をしなかったりしてしまう	子育て支援サービスの内容や利用方法がよくわからない	その他	特になし	無回答
利用している	912人	6.3%（57人）	5.5%（50人）	2.3%（21人）	4.4%（40人）	22.7%（207人）	1.9%（17人）	3.2%（29人）	1.4%（13人）	16.4%（150人）	7.5%（68人）
利用していない	166人	7.8%（13人）	4.8%（ 8人）	5.4%（ 9人）	7.2%（12人）	6.6%（11人）	0.6%（ 1人）	10.8%（18人）	1.2%（ 2人）	20.5%（34人）	7.8%（13人）

④充実してほしい子育て支援の内容

就学前の保護者が求める子育て支援としては、「子連れで出かけられる場所」、「保育所(園)や幼稚園に係る費用負担軽減」が７割前後を占め、特に高い。また、「公園を増やしてほしい」も４割半ばあり、３番目に高くなっている。

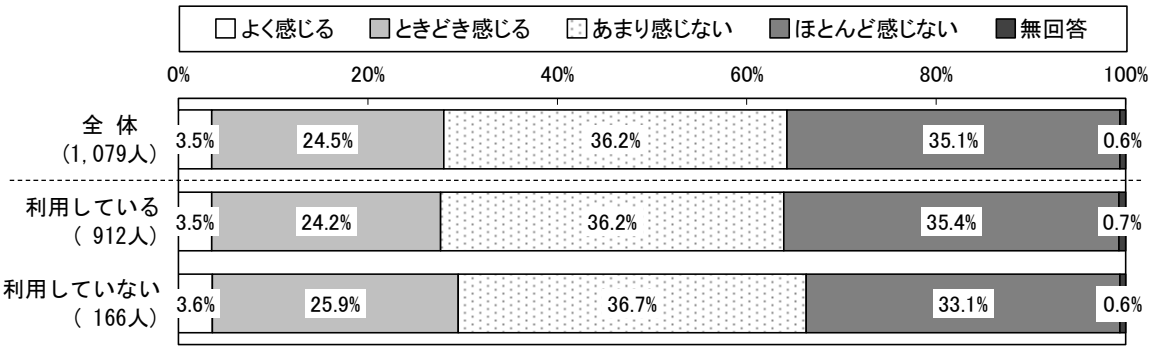
充実してほしい子育て支援の内容



⑤孤独を感じるとき

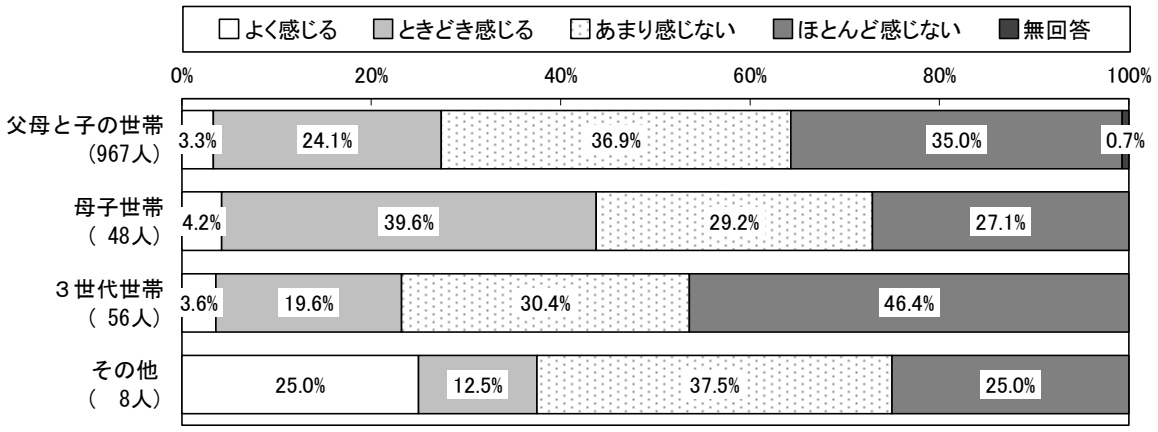
子育て家庭の孤立感をみると、「よく感じる」、「時々感じる」と合わせた“孤立を感じる”という割合は、28.0%となる。また、保育施設の利用有無別にみると、「利用している」では“孤独感あり”は 27.7%、「利用していない」では 29.5%を占める。

全体・教育・保育サービスの利用有無別　孤独を感じるとき

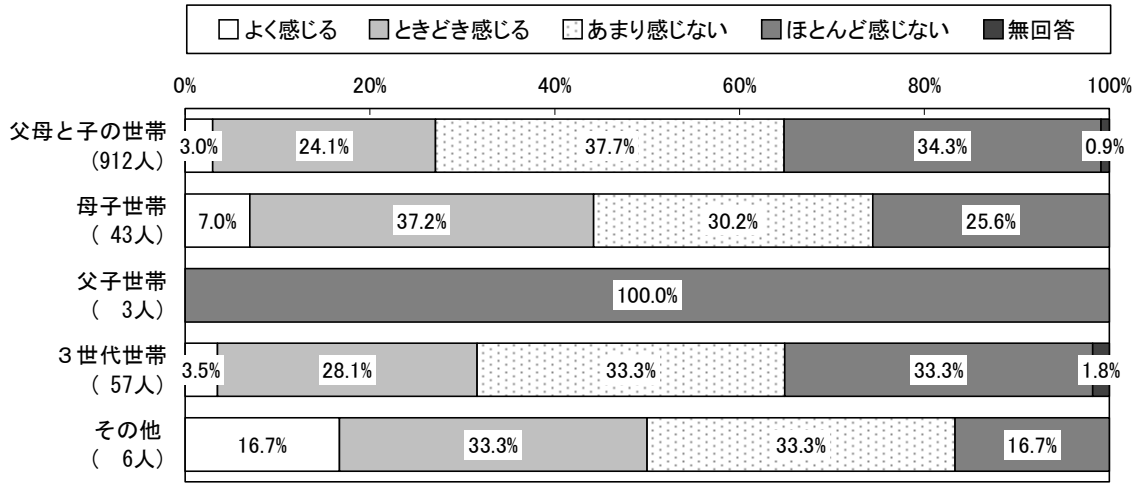


世帯構成別でみると、母子世帯の“孤独感あり”は 43.8%と他の世帯より高くなっている。前回調査時と同程度の孤立感である。(前回調査では 44.2%)

世帯構成別　孤独を感じるとき



(前回)

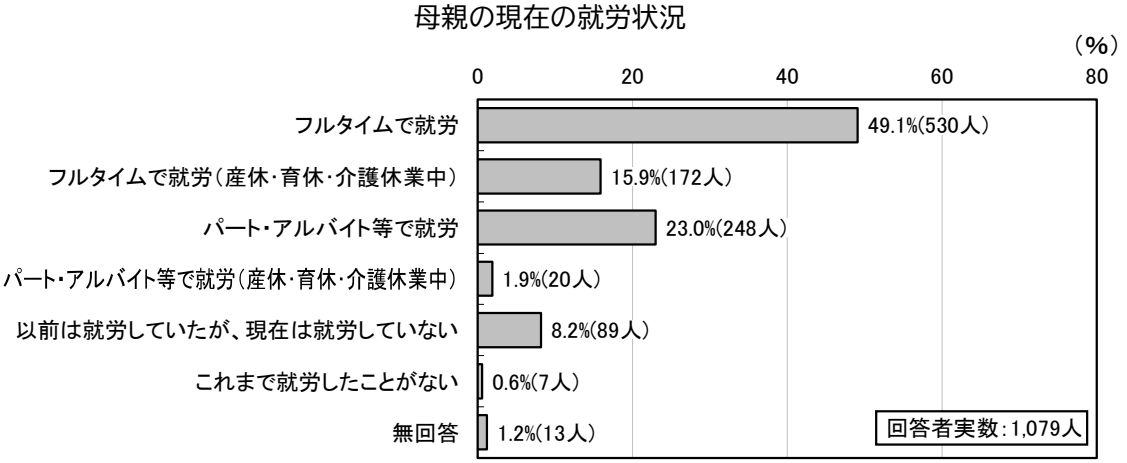


(2)-2 母親の就労状況

①母親の現在の就労状況

就労している母親は、就学前児童保護者で 89.9%となっている。フルタイムでの勤務は 65.0%(49.1%＋15.9%)、パート・アルバイト等での勤務は 24.9%(23.0%＋1.9%)である。全国的にも共働き家庭は増加傾向にあるが、本町の母親の就労率は極めて高い。なお、就労していない母親は 8.8%(8.2%＋0.6%)であった。

前回調査時よりも、働く母親の割合が上昇している。

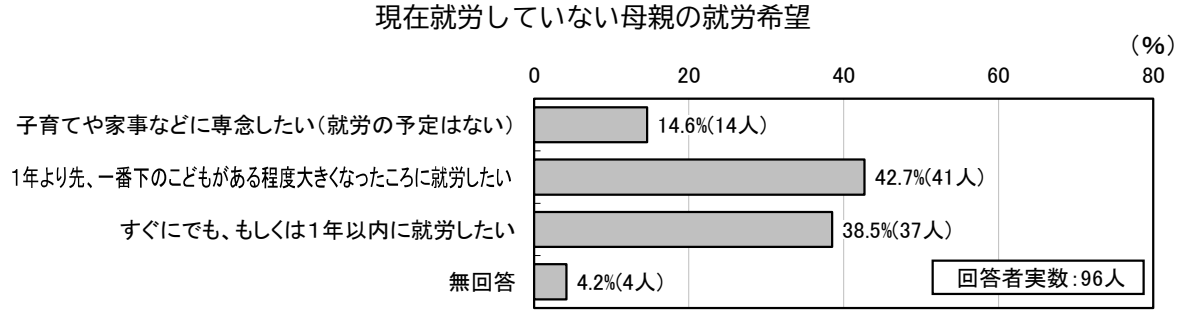


(前回)

就労している母親は、就学前児童保護者で 83.0%となっている。フルタイムでの勤務は 61.1%(43.1%＋18.0%)、パート・アルバイト等での勤務は 21.9%(18.9%＋3.0%)である。なお、就労していない母親は 16.0%(14.9%＋1.1%)であった。

②現在就労していない母親の就労希望

就労していない母親のうち、「すぐにでも働きたい」と考えている割合は就学前児童保護者で 38.5%となっている。「1 年より先、一番下のこどもがある程度大きくなったころに就労したい」は 42.7%であり、これらを合わせると 81.2%が就労を希望している。

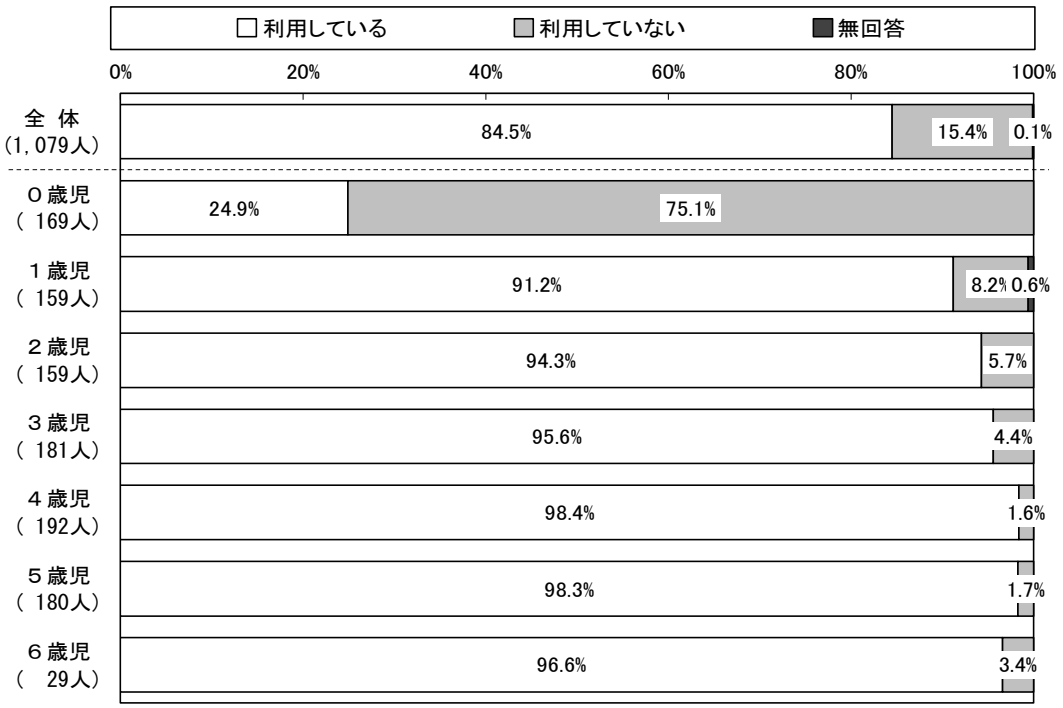


(2)-3 教育・保育サービスの利用について

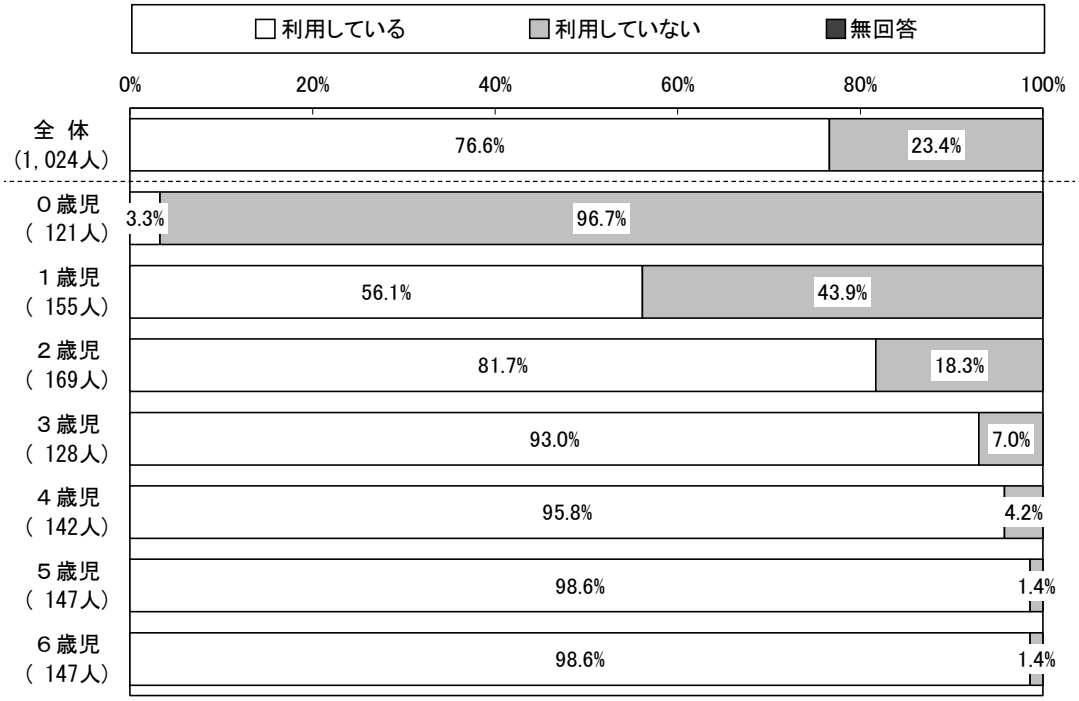
①教育・保育のサービスの利用の有無

保育施設等の利用有無をみると、ほぼすべての年齢で利用率が上昇している。前回調査時は、1歳児、２歳児の利用率が９割に満たなかったが、今回調査では９割を超えている。

全体・こどもの年齢別　教育・保育のサービスの利用の有無



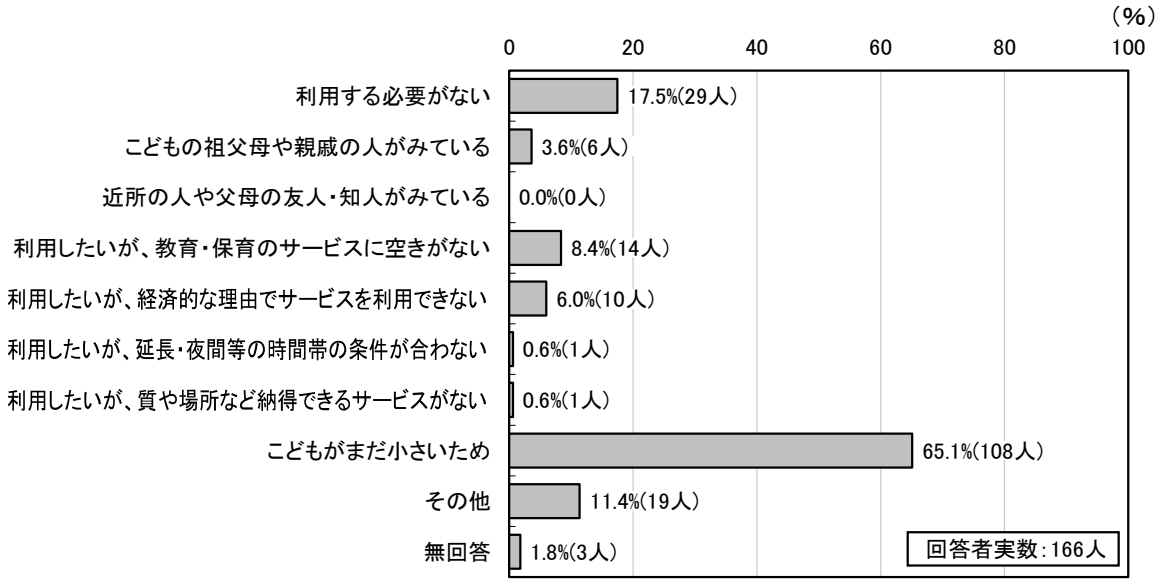
（前回）



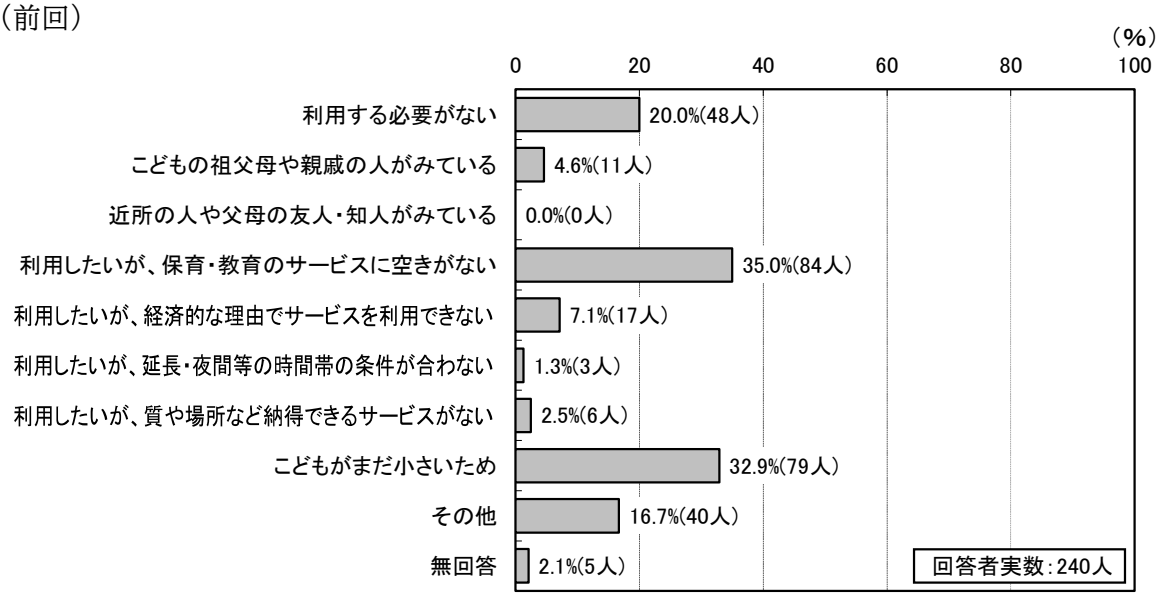
②教育・保育サービスを利用していない理由

保育施設等を利用していない理由としては、「こどもがまだ小さいため」という回答が 65.1%で最も高く、「空きがない」という回答は 8.4%となっている。前回調査時には、「空きがない」という回答が 35.0%あり、今回調査では大幅に減少している。空きがないという回答は、１～３歳の低年齢児で多い。

教育・保育サービスを利用していない理由



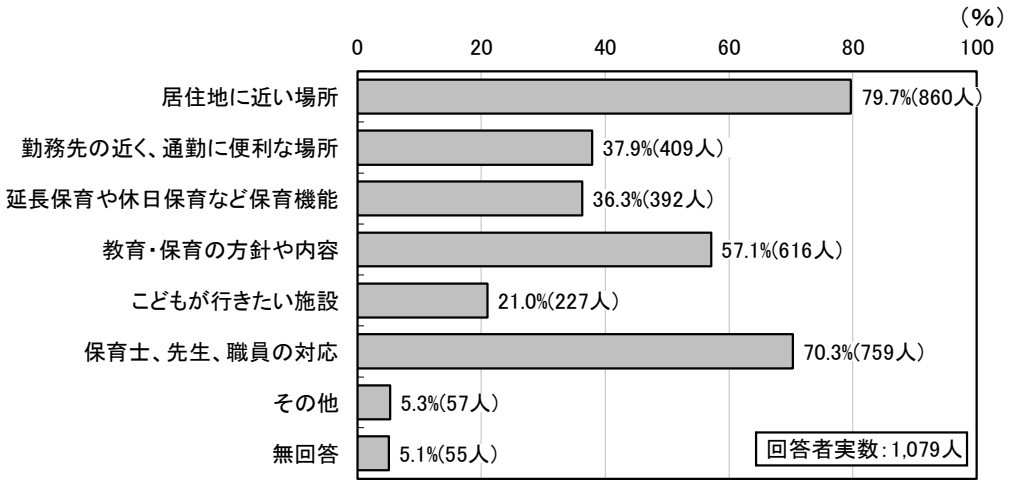
（前回）



③教育・保育サービスを選ぶときに重視すること

教育・保育サービスを選ぶ際に重視することとしては、「居住地に近い場所」が約８割を占めて最も多い。そのほか、「保育士、先生、職員の対応」が７割、「教育・保育の方針や内容」が６割近くを占めており、教育・保育の質にも関心が高いことがわかる。

教育・保育サービスを選ぶときに重視すること

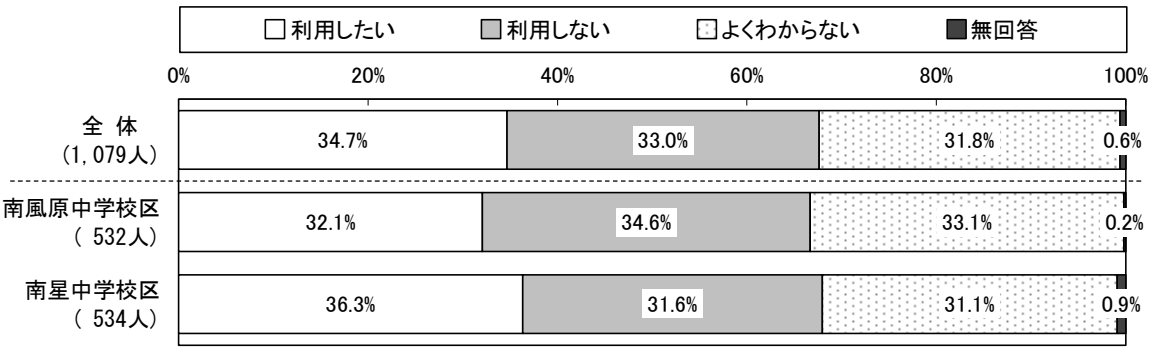


④公立幼稚園での３年保育の利用意向

公立幼稚園での３歳児からの３年保育ニーズを確認したところ、「利用したい」が３割半ばとなっている。また「よくわからない」という回答も３割程度ある。

中学校区別にみると、「利用したい」は南星中学校区の方が、南風原中学校区より若干高くなっている。

全体・中学校区別　公立幼稚園での３年保育の利用意向



⑤公立幼稚園（３年保育）を利用する際の条件について

公立幼稚園がどのような利用条件になれば、保育所（園）や認定こども園よりも利用したいと思うか。利用する際の条件について尋ねた。

以下、記入の多い声について記載する。

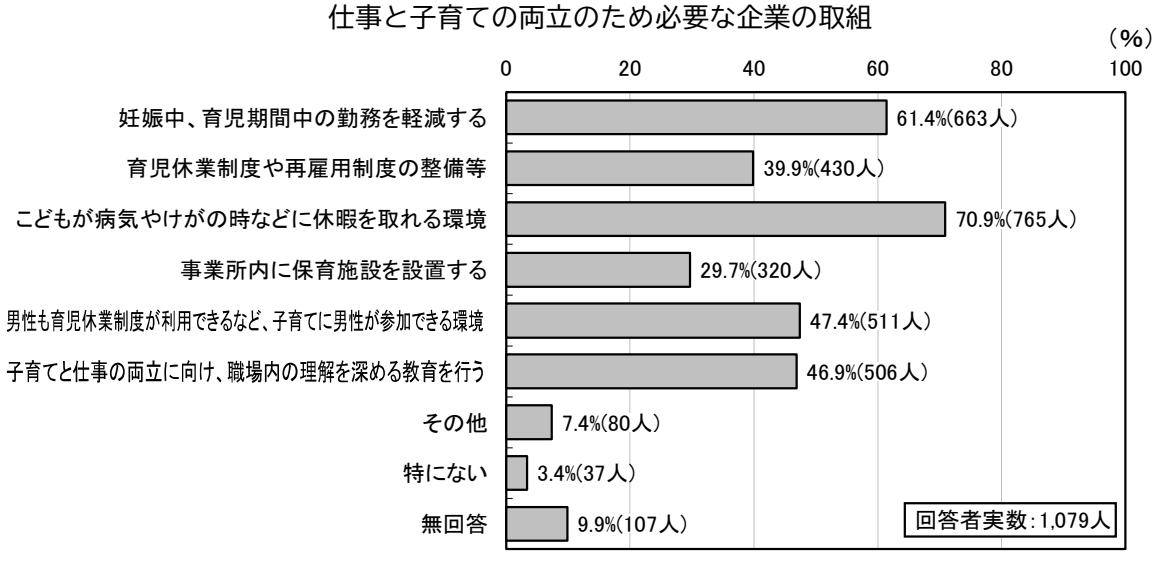
1．保育時間の延長 ●迎えの時間を延ばす（17時30分、18時頃まで） ●朝の受け入れ時間を7時開始 ●預かり保育時間の延長 ●保育所（園）と同じ利用時間 2．土日・長期休暇の預かり ●土日の保育 ●長期休みの受け入れ ●休暇中の給食提供（夏休みも給食あり、週1は弁当） 3．保育環境の質の向上 ●こどもに寄り添った保育 ●保育士の配置人数の確保 ●体を使った遊びの充実 ●教育内容の充実（英語、数字、ひらがな、体育など） 4．一貫した保育 ●0～5歳児まで一貫して通う保育 ●3歳までは保育所（園）を利用したい	5．施設の充実と利用のしやすさ ●駐車場の確保（送迎や雨天時の負担軽減） ●幼稚園と保育所（園）の違いが分からないための不安解消 ●施設環境の整備（遊ぶ環境の充実） ●安心して預けられる環境の提供 6．情報共有とコミュニケーション ●日々のこどもの様子の共有（「今日何をしたか？」など） ●行事やお知らせのしっかりした伝達 7．その他 ●弁当持参の日の減少 ●公立幼稚園、保育所（園）、認定こども園の違いの周知

(2)-4 子育てと仕事の両立について

①仕事と子育ての両立のため必要な企業の取組

仕事と子育ての両立のために必要な企業の取組としては、「こどもが病気やけがの時などに休暇をとれる環境」が最も高く、次いで「妊娠中、育児期間の勤務の軽減」となっている。その他、「子育てと仕事の両立についての職場の理解」、「男性が子育てに参加できる環境を求める声」も高くなっている。

仕事と子育ての両立のため必要な企業の取組

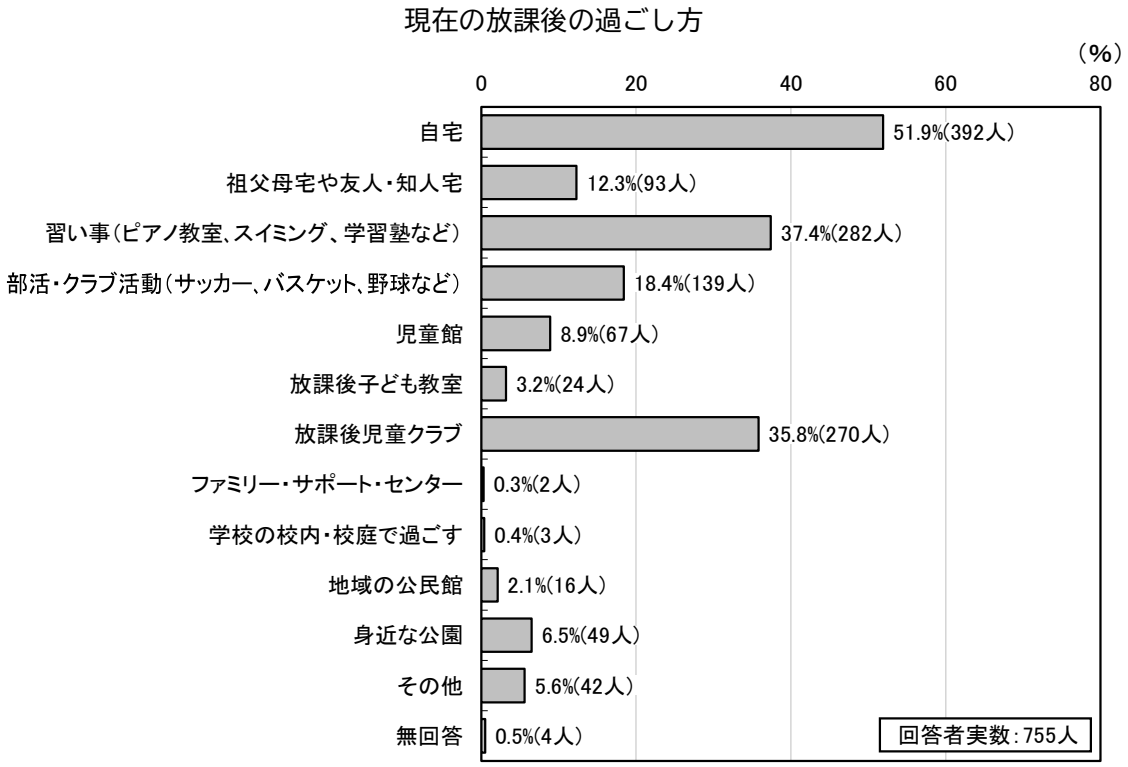


(3)小学生保護者調査の調査結果より

(3)-1 放課後の過ごし方について

①現在の放課後の過ごし方

放課後は自宅で過ごすという回答が最も高いほか、「習い事」、「放課後児童クラブ」という回答が高い。



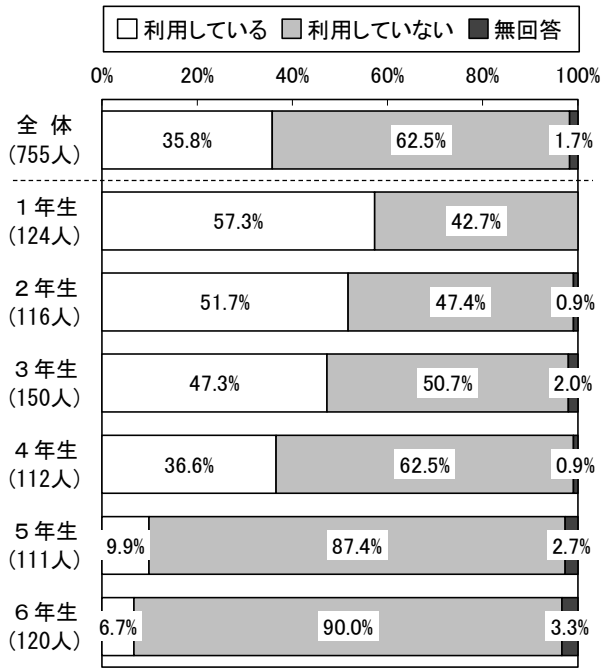
(3)-2 放課後児童クラブ(学童保育)の利用について

①放課後児童クラブ(学童保育)の現在の利用状況と利用希望

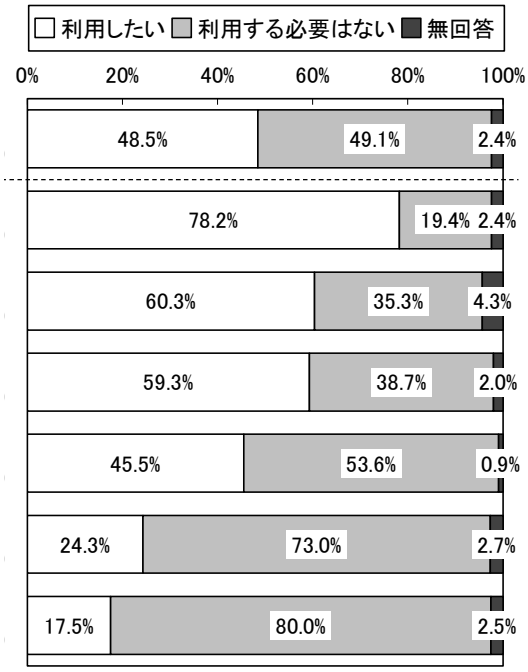
放課後児童クラブの利用は約３割半ば、利用希望は５割近くとなっている。

放課後児童クラブの利用希望を学年別にみると、１年生では８割近くを占め、２年生では６割半ばを占めている。３年生以上でも利用したいという声があり、４年生で４割半ば、５年生で２割半ば、６年生では１割半ばとなっている。

全体・こどもの学年別
放課後児童クラブの現在の利用状況

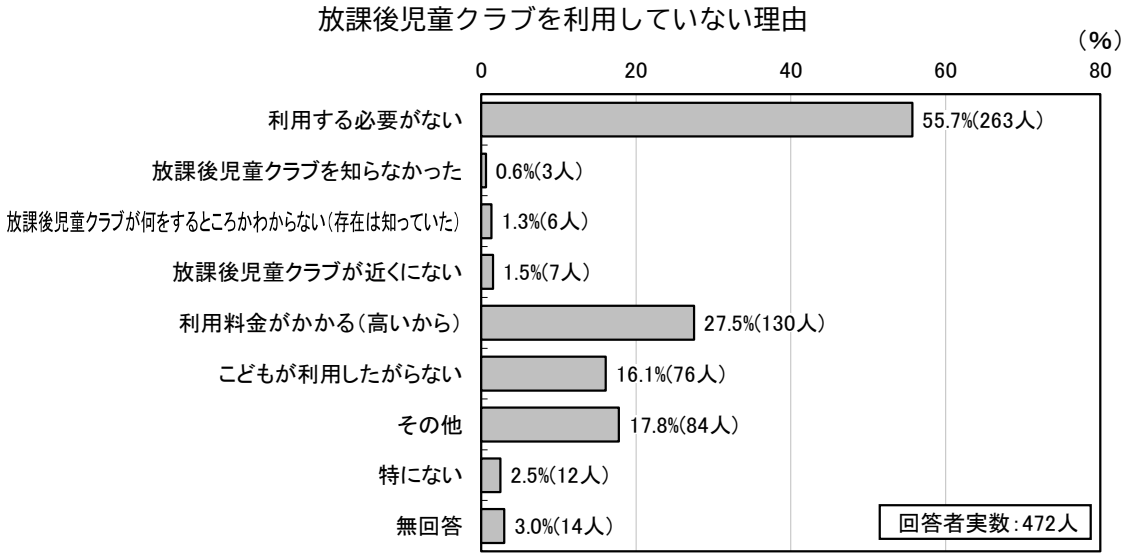


全体・こどもの学年別
放課後児童クラブの利用希望



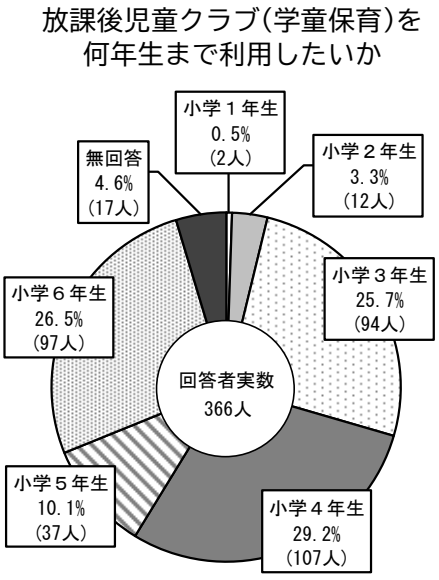
②放課後児童クラブ(学童保育)を利用していない理由

放課後児童クラブを利用していない理由としては「利用料金がかかるから(高いから)」という回答が２割余りとなっている。



③放課後児童クラブ(学童保育)を何年生まで利用したいか

放課後児童クラブを何年生まで利用させたいか尋ねたところ、「４年生」が約３割、「６年生」と「３年生」が２割半ばとなっている。高学年まで利用したいという声が大半を占めている。



(4)自由回答のまとめ

①-1 就学前児童保護者調査結果より

就学前児童保護者調査では、以下のような声が寄せられた。

No.	意見　記述カテゴリ	676 件	No.	意見　記述カテゴリ	
1	経済的負担の軽減	85 件	21	相談・講座	7 件
2	保育サービスの利用	44 件	22	手続き	7 件
3	遊び場	44 件	23	図書館	6 件
4	公立幼稚園	38 件	24	習い事	6 件
5	仕事と子育ての両立	34 件	25	５歳児保育	6 件
6	土曜日の保育	31 件	26	医療機関	5 件
7	人材確保・質の向上	30 件	27	イベント	5 件
8	子育て支援	28 件	28	居場所	4 件
9	母子保健	25 件	29	父親の育児参加	4 件
10	待機児童対策	22 件	30	休日保育	3 件
11	病児保育	20 件	31	児童館	3 件
12	保育現場	19 件	32	交流機会	3 件
13	情報提供	19 件	33	夜間保育	2 件
14	放課後児童クラブ	19 件	34	ひとり親支援	2 件
15	行政	15 件	35	アンケート	2 件
16	一時預かり	14 件	36	教育	2 件
17	道路・交通	14 件	37	体験機会	1 件
18	発達支援・障がい児	11 件	38	ファミサポ	1 件
19	認定こども園	11 件	39	延長保育	1 件
20	給食	10 件	40	その他	73 件

①-2 主な記述内容（就学前児童保護者）

★経済的負担

（０歳児から２歳児の保育料が高い、多子世帯への経済的支援、非課税世帯以外への支援、給食費の無償化、現物給付などの支援(おむつ、ミルクなど)、制服や学校にかかる費用軽減、産休・育休の手当の充実、児童手当の増額、病児保育利用料の値下げ など）

★保育サービスの利用

（兄弟児は同じ園にしてほしい、育休明けなど年度途中での入所が困難、希望するタイミングで希望する園に入りたい、育休中に兄弟児の保育時間が保育短時間になることの不満、０歳から入園しないと保育所(園)に入れない、親の就労に関係なく保育所(園)を利用できるようにしてほしい、保育所(園)の利用決定通知が遅い、母親が仕事をしていなくても預けられるようにしてほしい(数時間だけでも)、育休中でも標準時間保育にしてほしい、入所申し込みの電子化、日曜日の保育希望、７時から預けたい など）

★遊び場

（公園の増加、広々とした公園が欲しい、雨天時に遊べる場所、日陰がある公園、自然とふれあえる場所、公園の駐車場充実、室内で遊べるアスレチック施設、公園のトイレが汚い、遊具の充実、幼児向けの遊具の充実、安全な公園 など）

★公立幼稚園

（預かり保育の時間が短い、３年保育の実施、週１回の「お弁当の日」への不満、長期休暇中の毎日お弁当への不満、夏休みも給食にしてほしい、制服の購入負担(登園時のみの着用の必要性)、遊具の修繕、認定こども園への移行希望、行事を土日にしてほしい、土曜日を預けやすいようにしてほしい など）

★仕事と子育ての両立

（産休・育休制度の充実、男性の育児休業が取得しやすい環境が必要、育児休業給付金の充実、家事・育児で母親の方が負担大きい、短時間勤務しやすい職場環境が必要、仕事と子育てについて職場の理解向上、こどもが病気の時に休みやすくしてほしい、仕事中心で家事・育児を二の次にしなくてはならない職場への不満 など）

★土曜日の預かり

（土曜日預けにくい雰囲気がある、「土曜日預けるなら平日に１日休ませてください」と言われる、理由や勤務証明書などを提出させる、土曜日保育は有料にして平日保育と差別化してほしい など）

★人材確保・質の向上

（保育士の確保が必要、保育士不足で延長保育や一時預かりができないと困る、保育士の待遇をよくする、保育士が余裕を持って働ける環境が必要、保育士養成のサポート、保育士の負担を減らす、保育士へのサポート体制の強化 など）

★地域子育て支援

（家事援助のサービスがあったらよい、一時預かりの充実、地域子育て支援センターの充実（増やしてほしい、閉鎖したセンターの再開希望、ちむぐくる館にほしい、情報がない など）、親の就労に関わらず預けられる園がほしい など）

★母子保健

（産後ケアの充実（だれでも利用できるように、宿泊型の産後ケアの希望、産後ケアは良かった、産後の１年間程度の定期訪問希望、産後ケアの回数増加）、出産後の訪問はあったがその後のフォローがない、健診が混雑していてちゃんと診てくれているか不安、予防接種の充実 など）

★待機児童

（待機児童の解消、待機児童になってつらかった、保育所（園）に入れないから働けなくて困る、仕事を辞めなければならなかった、保育所（園）が少ない、年度途中の保育申込みへの不満 など）

★病児保育

（病児保育の施設が少ない、病児保育の枠を増やしてほしい、診察してからの預かりなので仕事に行くのが遅くなる（午後など）、利用料金の負担感 など）

②-1 小学生保護者調査結果より

小学生保護者調査では、以下のような声が寄せられた。

No.	意見　記述カテゴリ	333 件	No.	意見　記述カテゴリ	
1	経済的負担の軽減	65 件	22	人材確保・質の向上・支援	3 件
2	道路・交通	30 件	23	ひとり親家庭の支援	2 件
3	遊び場	27 件	24	公立幼稚園	2 件
4	放課後児童クラブの受け入れ	18 件	25	施設	2 件
5	居場所	17 件	26	就学援助	2 件
6	放課後児童クラブ	15 件	27	習い事	2 件
7	児童館	15 件	28	相談	2 件
8	放課後児童クラブの利用料	11 件	29	地域	2 件
9	学校	11 件	30	医療機関	2 件
10	教育	8 件	31	子育て支援	2 件
11	給食	7 件	32	母子保健	2 件
12	保育サービス	6 件	33	イベント	2 件
13	学校施設	5 件	34	学習支援	2 件
14	図書館	4 件	35	困難を抱えるこどもの支援	2 件
15	病児保育	4 件	36	行政	1 件
16	体験機会	4 件	37	クラブ活動	1 件
17	情報提供	4 件	38	土日の預かり	1 件
18	仕事と子育ての両立	4 件	39	発達支援・障がい児	1 件
19	地域の安全	4 件	40	父親の育児参加	1 件
20	アンケート	3 件	41	その他	34 件
21	手続き	3 件			

②-2 主な記述内容（小学生保護者）

★経済的負担の軽減

（算数セットなど学校で使うものは備品にしてほしい、給食費の無償化、学用品に係る費用が多い、非課税世帯以外への支援、こども医療費無償化は助かっている、経済的に習い事をさせてあげられない、子育てに係る費用の負担軽減、小学生の兄弟児のいる世帯の保育料無償化 など）

★道路・交通

（歩道が狭い、歩道がない、通学路の安全確保、スクールバスで安全に登下校させたい、街灯がなくて危険、通学路の草刈りが必要 など）

★遊び場（意見が特に多い）

（気軽に行ける公園がほしい、自宅近くに公園がない、ボール遊びできる公園が欲しい、雨が降った時に遊べる場所、公園の草刈りが必要 など）

★放課後児童クラブの受け入れ

（放課後児童クラブの増加、１年生優先で受け入れてほしい、学童に入れず困っている、年度途中から入れなかった、希望者全員が入れるようにしてほしい など）

★居場所

（長期休みの時の居場所がほしい、放課後の学校が居場所になってほしい、学童をやめた後の高学年の居場所がほしい、勉強などできる場所が欲しい、回数で利用できる学童や居場所が必要 など）

★放課後児童クラブ

（様々な体験ができる場であってほしい、習い事をしていると学童を退所しなくてはならない、学校敷地内に学童があってほしい、長期休暇中だけ学童を利用したい、希望者全員が入れるようにしてほしい など）

★児童館

（昼休みをなくしてほしい、土曜日の開館希望、開館時間を早めてほしい（７時半、８時）、児童館が遠い、もっと利用したくなるようなイベントがあってほしい、安全面から駐車場整備してほしい など）

★放課後児童クラブの利用料

（学童の利用料が高い、兄弟児がいる場合の利用料負担が大きい など）

★学校

（算数セットなど、学校の備品にしてほしい、学校を早めに開けてほしい など）

★教育

（宿題対応に時間がかかり共働きには負担である、教科担当制、放課後に校長先生や教科担当の特別授業で知識を増やすようにしてほしい など）

★給食

（品数が少ない、食の安全性に力を入れてほしい など）

４．こども・若者の声の把握（ヒアリング・アンケート等より）

(1)調査の概要・対象

①目的

こども基本法第 11 条の「市町村は、こども施策を策定し、実施し、及び評価するに当たっては、当該こども施策の対象となるこども又はこどもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずる。」を踏まえ、こども・若者の声を聞き、意見を反映したまちづくり及び計画策定を行うために、小学生、中学生、高校生、若者(18 歳から 39 歳)の各ライフステージ別にアンケート調査を実施しました。

②調査対象者と調査方法

・小学生（児童館利用者）
・中学生（学校でのＷＥＢ調査）
・高校生（学校でのＷＥＢ調査、意見交換会）
・若者の世代（18 歳～39 歳／郵送による調査の実施）

③回収状況

・小学生（児童館利用者）：回収数 215 件
・中学生：回収数 1,116 件
・高校生：回収数 610 件
・若者の世代：回収数 447 件

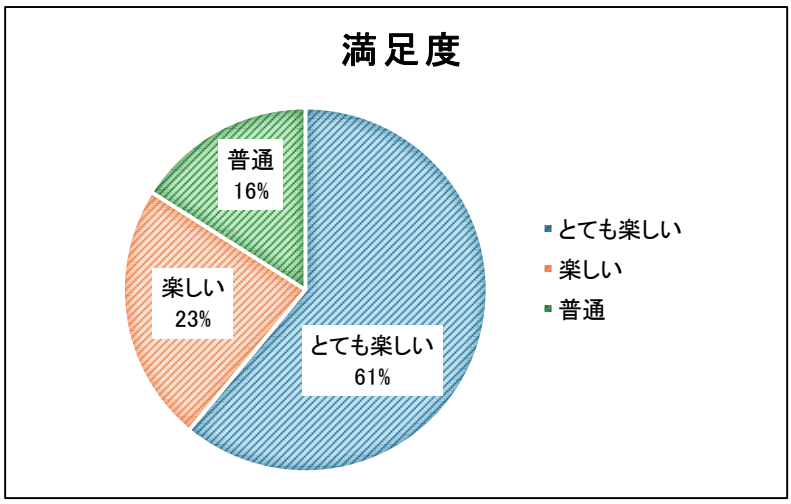
(2)小学生の声（児童館利用者）

①児童館の満足度

児童館の満足度を尋ねたところ、「とても楽しい」、「楽しい」という回答が８割を超えている。理由としては、「ゲンペー(遊びの名称)ができる」、「友達がいる」、「いろんな遊び場出来る」をあげる児童が多い。その一方で、勉強や宿題ができることを上げる児童も見られた。

※勉強や宿題ができることをあげた児童は、主に低学年からであった。

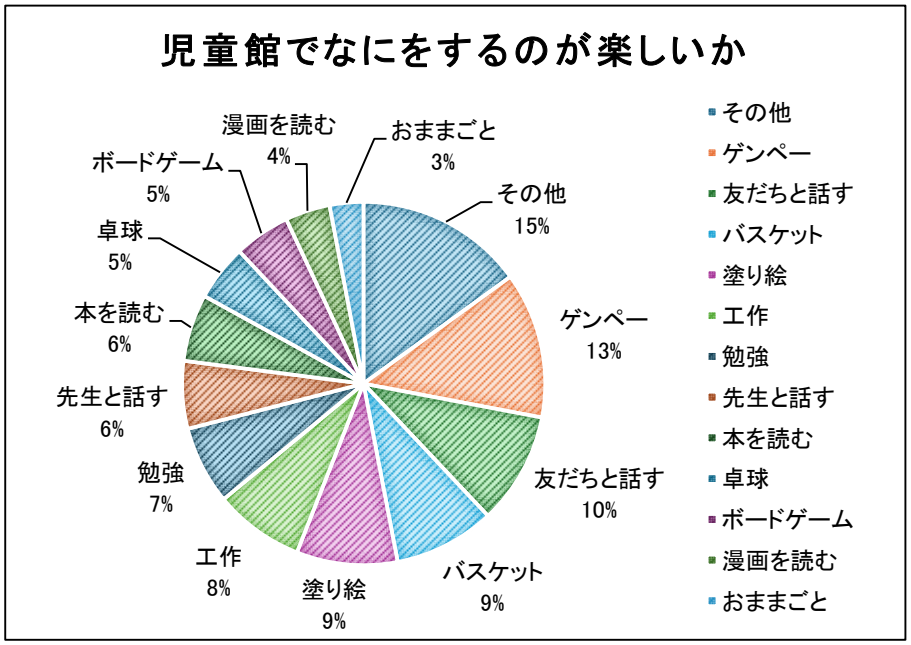
※遊び以外の理由として、「先生がいる」という回答も見られた。



②児童館で楽しいこと

児童館で楽しいこととしては、「その他」を除いて一番多い回答が「ゲンペー」であった。また、「友達と話す」、「バスケット(ボール)」と続いている。塗り絵や工作も人気が高い傾向がある。

「その他」の内訳としては、「バレー」、「ドッヂボール」、「バドミントン」といったスポーツが多く見られた。



③児童館に伝えたいこと、児童館にあったらいいもの

○伝えたいこと

・遊戯室にクーラーを設置してほしいとの意見がすべての児童館から複数挙がり、対面での聞き取りの中でも非常に多い意見となった。

・自分の好きな遊びをもっとしたいといった要望はどこの児童館からも挙がった。
イベント拡充(お出かけしたいなど)の要望は一部の児童館からのみであった。

・遊びやすい方法として、学年を分けたらどうか、時間ごとに遊び方のルールを決めてはどうかと提案する声もあった。

○あったらいいもの

・ゲームが欲しいという意見も一定数どこの児童館からも挙がった。一方で児童館はゲームをするところじゃないので必要ないといった真逆の意見もあった。

・既に児童館にある一輪車やバレーボール等を挙げる意見があり、対面での聞き取りによると数を増やしてほしいという趣旨であった。
※一方でスペースの都合上、これ以上増やせない実情がある。

・おやつ、お菓子を増やしてほしいという意見も挙がった。

・今のままでいい、充分楽しいといった好意的な意見も数多く挙がった。

5．こどもが過ごしやすい町になるために、大人にしてほしい事は何か

・優しくしてほしい、褒めてほしい、怒らない、遊んでほしいといった、こども側に寄り添うことを求める意見がどこの児童館からも挙げられたほか、みんな(大人に)仲良くしてほしいと願う意見も挙がった。

・その他、こどもが行きたくなるイベントを増やす、もっと遊べる場所を増やすという意見が挙がった。

・充分過ごしやすい、意見はない、ありがとうという回答も多く、要望ばかりでは無かった。

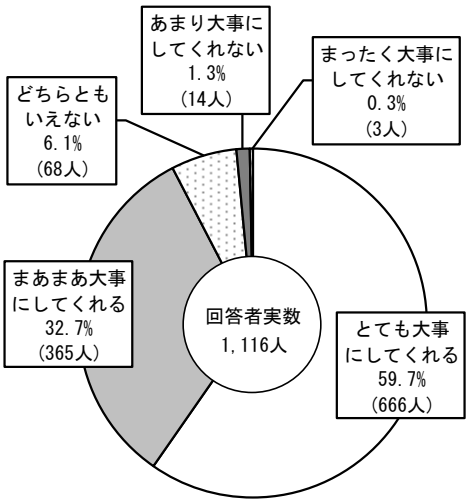
(3)中学生、高校生の声

①あなたの意見を大事にしてくれるか

中学生に、保護者は、あなたについてのことを決めるとき、あなたの意見を大事にしてくれるかについては、「とても大事にしてくれる」が59.7%と６割を占め高く、次いで「まあまあ大事にしてくれる」が32.7%と“意見を大事にしてくれる”という回答は92.4%となっている。

また、「どちらともいえない」が6.1%、「あまり大事にしてくれない」(1.3%)と「まったく大事にしてくれない」(0.3%)を合わせた“意見を大事にしてくれない”という回答は1.6%である

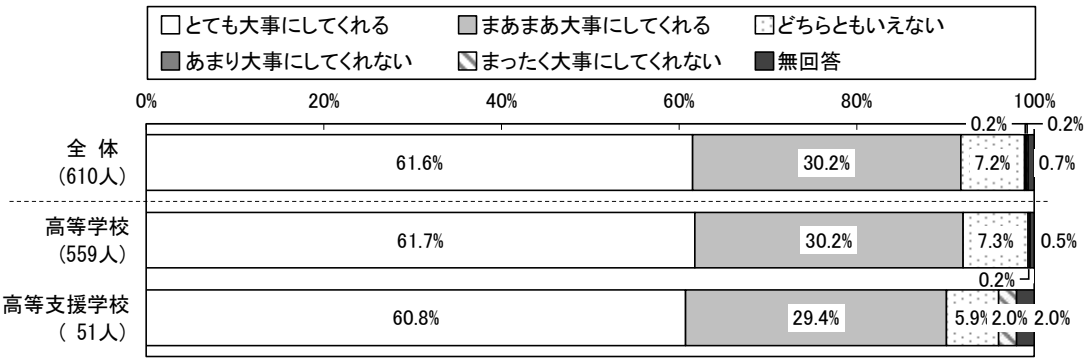
（中学生）あなたの意見を大事にしてくれるか



高校生では、「とても大事にしてくれる」が61.6%、「まあまあ大事にしてくれる」が30.2%で、“意見を大事にしてくれる”という回答は91.8%となっている。

また、「どちらともいえない」が7.2%、「あまり大事にしてくれない」と「まったく大事にしてくれない」(ともに0.2%)を合わせた“意見を大事にしてくれない”という回答は0.4%である。

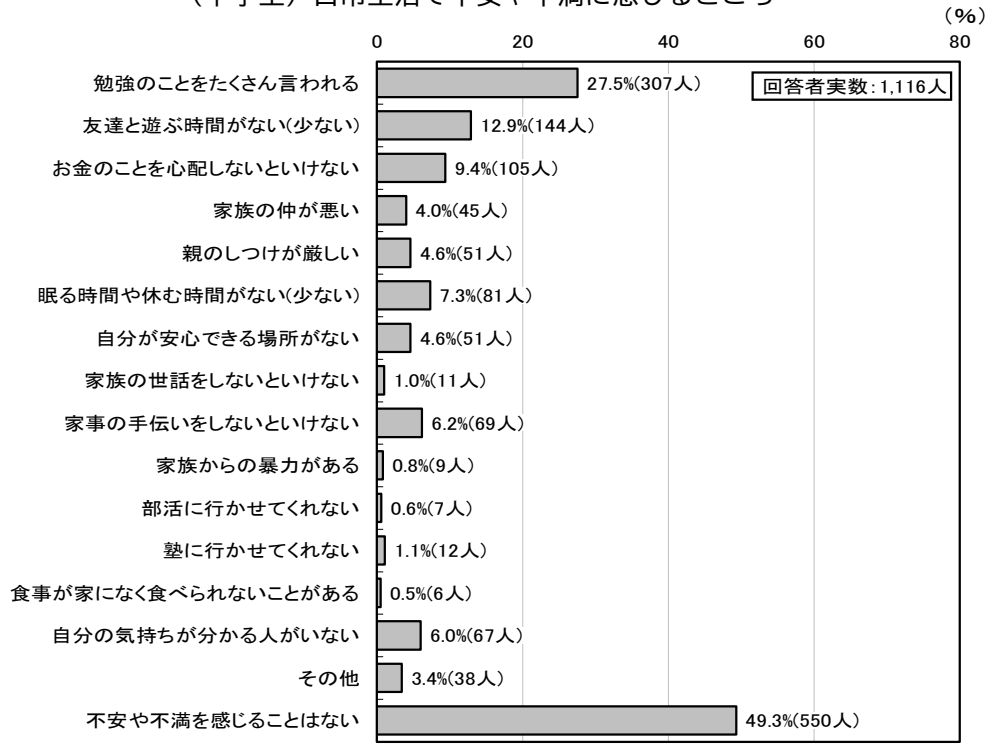
（高校生）あなたの意見を大事にしてくれるか



②日常生活で不安や不満に感じるところ

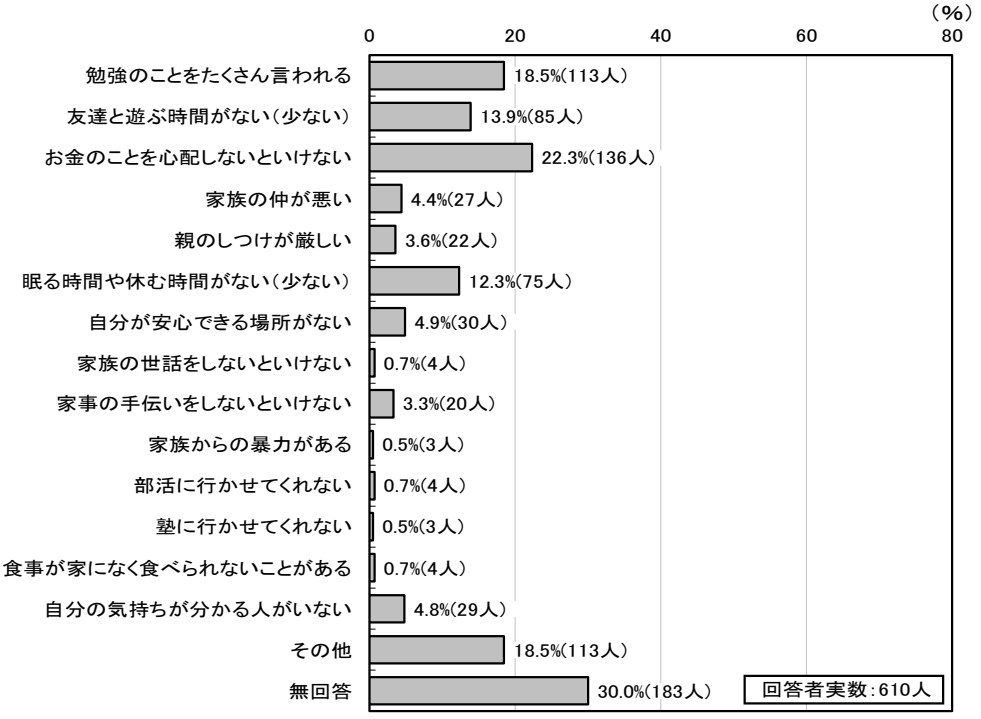
中学生では、「勉強のことをたくさん言われる」が 27.5%、「友達と遊ぶ時間がない(少ない)」が 12.9%、「お金のことを心配しないといけない」が 9.4%で比較的高くなっている。

（中学生）日常生活で不安や不満に感じるところ



高校生では、「お金のことを心配しないといけない」が 22.3%で最も高く、次いで「勉強のことをたくさん言われる」が 18.5%、「友達と遊ぶ時間がない(少ない)」が 13.9%、「眠る時間や休む時間がない(少ない)」が 12.3%となっている。

（高校生）日常生活で不安や不満に感じるところ



（中学生）

意見の尊重度別にみると、「不安や不満を感じることはない」は、自分の意見を“大事にしてくれる”や“まあま大事にしてくれる”と回答した方で高くなっている。

“どちらともいえない”は、「勉強のことをたくさん言われる」が高く、自分の意見を“大事にしてくれる”や“まあま大事にしてくれる”という回答者では３割未満であるのに対し、５割近くを占めている。また、“どちらともいえない”では、「家事の手伝いをしないといけない」、「自分の気持ちが分かる人がいない」という回答も、“大事にしてくれる”や“まあま大事にしてくれる”と回答した方と比べて割合が高い。

（中学生）意見の尊重度別　日常生活で不安や不満に感じるところ

	回答者実数	勉強のことをたくさん言われる	友達と遊ぶ時間がない（少ない）	お金のことを心配しないといけない	家族の仲が悪い	親のしつけが厳しい	眠る時間や休む時間がない（少ない）	自分が安心できる場所がない	家族の世話をしないといけない
とても大事にしてくれる	666人	23.6%（157人）	10.1%（67人）	5.9%（39人）	2.0%（13人）	1.5%（10人）	5.1%（34人）	2.7%（18人）	0.9%（ 6人）
まあまあ大事にしてくれる	365人	29.3%（107人）	17.0%（62人）	14.5%（53人）	4.7%（17人）	5.2%（19人）	9.0%（33人）	4.4%（16人）	0.5%（ 2人）
どちらともいえない	68人	48.5%（33人）	14.7%（10人）	10.3%（ 7人）	16.2%（11人）	22.1%（15人）	14.7%（10人）	22.1%（15人）	2.9%（ 2人）
あまり大事にしてくれない	14人	64.3%（ 9人）	28.6%（ 4人）	35.7%（ 5人）	21.4%（ 3人）	50.0%（ 7人）	21.4%（ 3人）	14.3%（ 2人）	7.1%（ 1人）
まったく大事にしてくれない	3人	33.3%（ 1人）	33.3%（ 1人）	33.3%（ 1人）	33.3%（ 1人）	0.0%（ 0人）	33.3%（ 1人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）

	回答者実数	家事の手伝いをしないといけない	家族からの暴力がある	部活に行かせてくれない	塾に行かせてくれない	食事が家になく食べられないことがある	自分の気持ちが分かる人がいない	その他	不安や不満を感じることはない
とても大事にしてくれる	666人	3.9%（26人）	0.6%（ 4人）	0.6%（ 4人）	0.8%（ 5人）	0.6%（ 4人）	3.3%（22人）	2.6%（17人）	58.4%（389人）
まあまあ大事にしてくれる	365人	6.8%（25人）	0.5%（ 2人）	0.3%（ 1人）	1.1%（ 4人）	0.3%（ 1人）	6.6%（24人）	4.7%（17人）	39.5%（144人）
どちらともいえない	68人	20.6%（14人）	4.4%（ 3人）	1.5%（ 1人）	1.5%（ 1人）	1.5%（ 1人）	22.1%（15人）	4.4%（ 3人）	22.1%（15人）
あまり大事にしてくれない	14人	21.4%（ 3人）	0.0%（ 0人）	7.1%（ 1人）	14.3%（ 2人）	0.0%（ 0人）	35.7%（ 5人）	7.1%（ 1人）	7.1%（ 1人）
まったく大事にしてくれない	3人	33.3%（ 1人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	33.3%（ 1人）	0.0%（ 0人）	33.3%（ 1人）

（高校生）

意見の尊重度別にみると、自分の意見を“大事にしてくれる”や“まあま大事にしてくれる”と回答した方では、「お金のことを心配しないといけない」、「勉強のことをたくさん言われる」が高くなっているが、“どちらともいえない”では、「お金のことを心配しないといけない」に続いて、「親のしつけが厳しい」、「自分が安心できる場所がない」、「友達と遊ぶ時間がない（少ない）」、「自分の気持ちが分かる人がいない」が 20.5%の同率で高くなっている。

また、“どちらともいえない”では、「自分の気持ちが分かる人がいない」という回答が 2 割を占めており、“大事にしてくれる”や“まあま大事にしてくれる”

（高校生）意見の尊重度別　日常生活で不安や不満に感じるところ

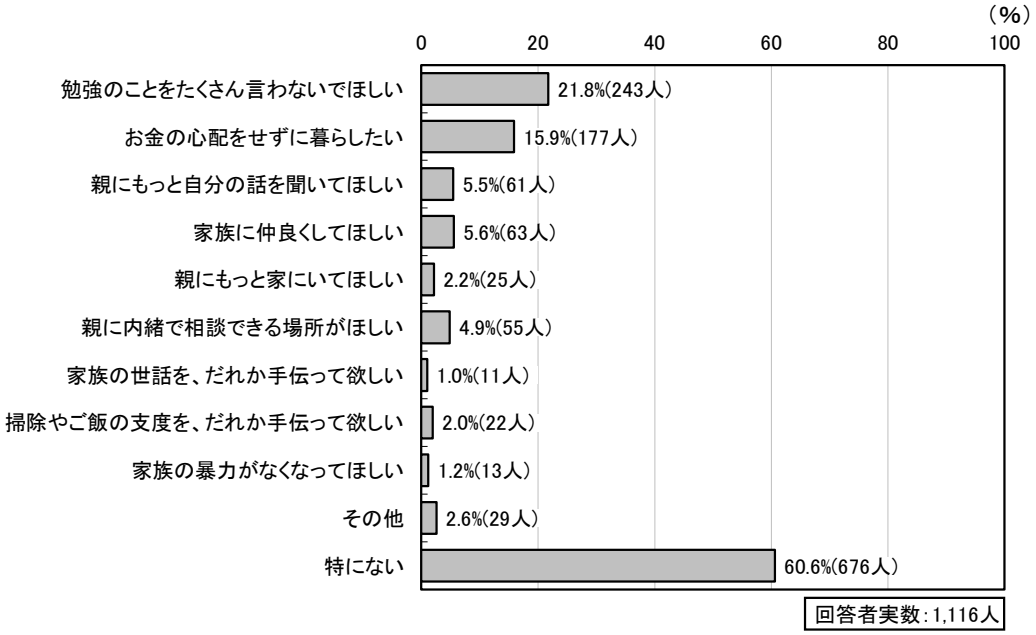
	回答者実数	勉強のことをたくさん言われる	友達と遊ぶ時間がない（少ない）	お金のことを心配しないといけない	家族の仲が悪い	親のしつけが厳しい	眠る時間や休む時間がない（少ない）	自分が安心できる場所がない	家族の世話をしないといけない
とても大事にしてくれる	376人	16.5%（62人）	14.9%（56人）	19.7%（74人）	2.4%（ 9人）	1.6%（ 6人）	12.2%（46人）	2.9%（11人）	1.1%（ 4人）
まあまあ大事にしてくれる	184人	22.8%（42人）	10.3%（19人）	26.6%（49人）	6.0%（11人）	3.8%（ 7人）	12.5%（23人）	4.9%（ 9人）	0.0%（ 0人）
どちらともいえない	44人	15.9%（ 7人）	20.5%（ 9人）	22.7%（10人）	15.9%（ 7人）	20.5%（ 9人）	11.4%（ 5人）	20.5%（ 9人）	0.0%（ 0人）
あまり大事にしてくれない	1人	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	100.0%（ 1人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）
まったく大事にしてくれない	1人	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）

	回答者実数	家事の手伝いをしないといけない	家族からの暴力がある	部活に行かせてくれない	塾に行かせてくれない	食事が家になく食べられないことがある	自分の気持ちが分かる人がいない	その他	無回答
とても大事にしてくれる	376人	2.7%（10人）	0.5%（ 2人）	0.5%（ 2人）	0.8%（ 3人）	0.8%（ 3人）	2.7%（10人）	19.4%（73人）	33.0%（124人）
まあまあ大事にしてくれる	184人	4.9%（ 9人）	0.5%（ 1人）	1.1%（ 2人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	5.4%（10人）	19.0%（35人）	23.4%（43人）
どちらともいえない	44人	2.3%（ 1人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	2.3%（ 1人）	20.5%（ 9人）	11.4%（ 5人）	29.5%（13人）
あまり大事にしてくれない	1人	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）
まったく大事にしてくれない	1人	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	0.0%（ 0人）	100.0%（ 1人）

③日常生活で、もっとこうなったらいいなと思うところ

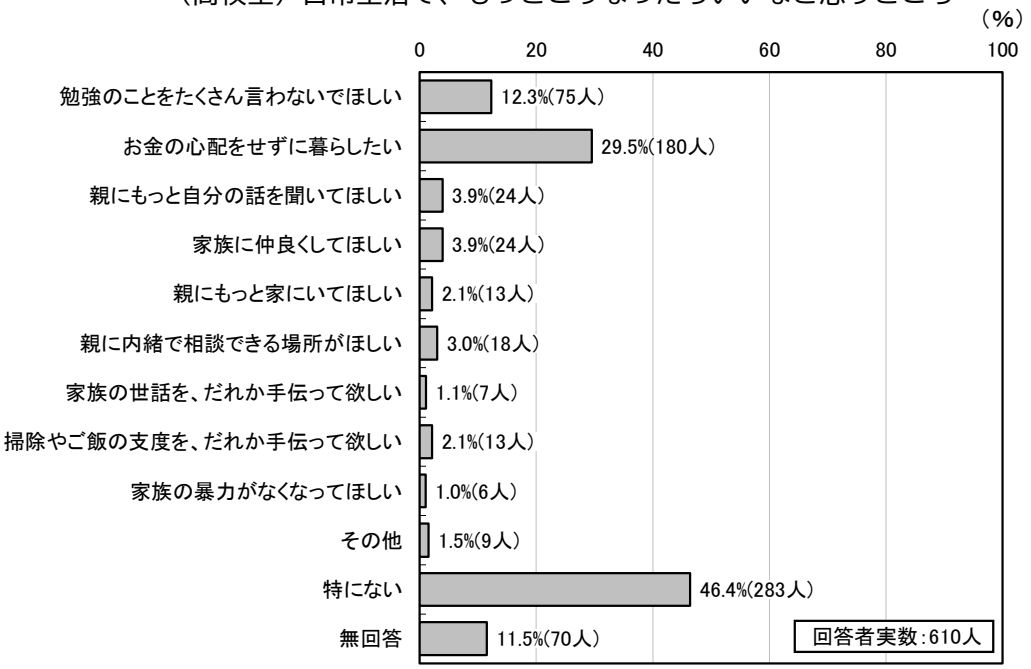
中学生では、「特にない」が 60.6%と最も高くなっている。具体的な内容については、「勉強のことをたくさん言わないでほしい」が 21.8%、「お金の心配をせずに暮らしたい」が 15.9%で高くなっている。

（中学生）日常生活で、もっとこうなったらいいなと思うところ



高校生では、「特にない」が 46.4%と最も高くなっている。具体的な内容については、「お金の心配をせずに暮らしたい」が 29.5%、「勉強のことをたくさん言わないでほしい」が 12.3%で高くなっている。

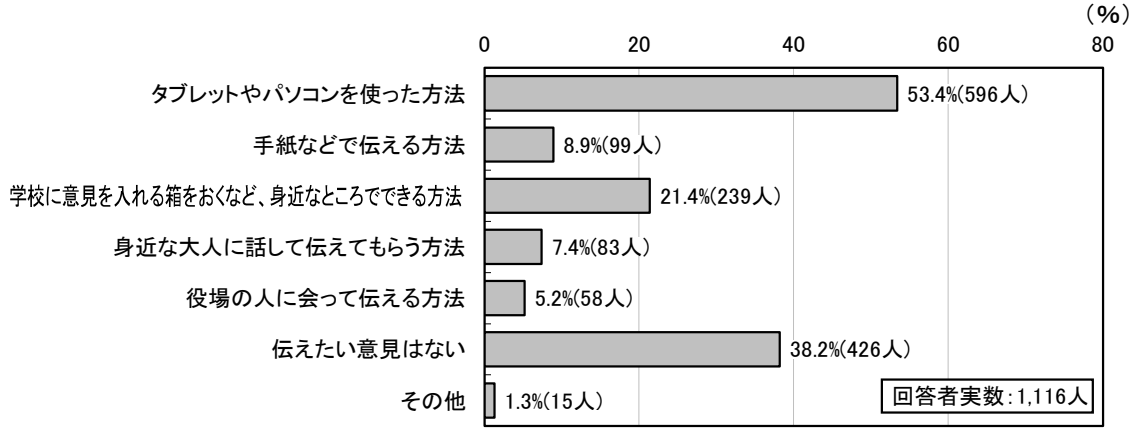
（高校生）日常生活で、もっとこうなったらいいなと思うところ



④どんな方法や手段があれば、町に対し意見を伝えやすいか

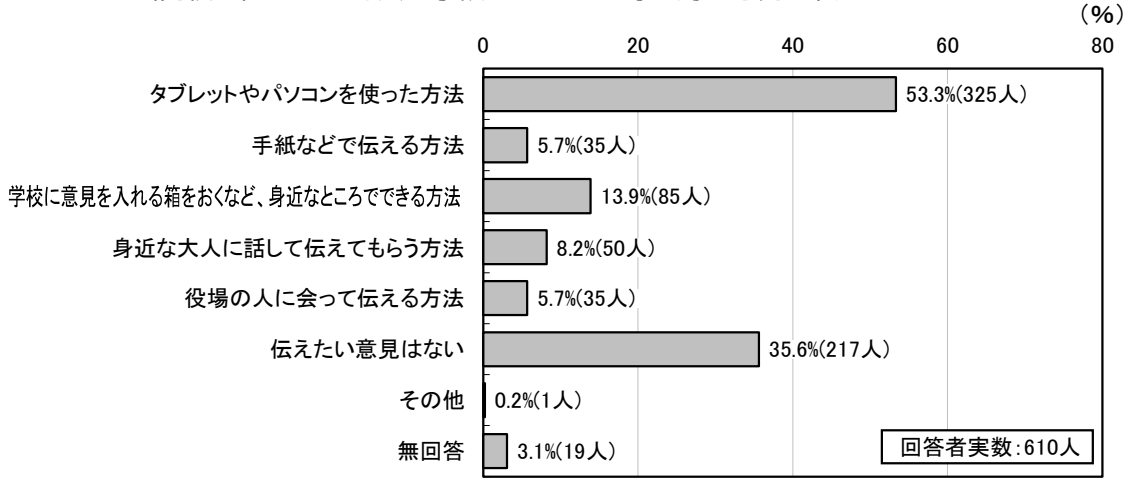
中学生では、「タブレットやパソコンを使った方法」が 53.4%で最も高く、次いで「伝えたい意見はない」が 38.2%、「学校に意見を入れる箱をおくなど、身近なところでできる方法」が 21.4%となっている。

（中学生）どんな方法や手段があれば、町に対し意見を伝えやすいか



高校生では、「タブレットやパソコンを使った方法」が 53.3%で最も高く、次いで「伝えたい意見はない」が 35.6%、「学校に意見を入れる箱をおくなど、身近なところでできる方法」が 13.9%となっている。

（高校生）どんな方法や手段があれば、町に対し意見を伝えやすいか

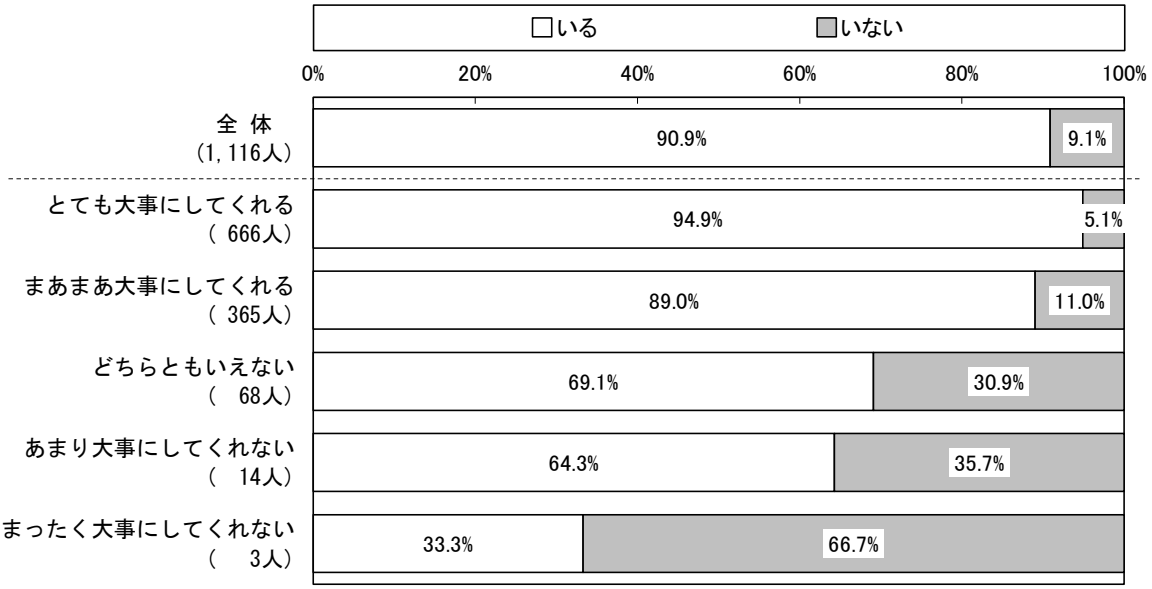


⑤困ったときに相談したり、悩みを話せる人の有無

中学生では、「いる」が 90.9%と大半を占め、「いない」が 9.1%となっている。

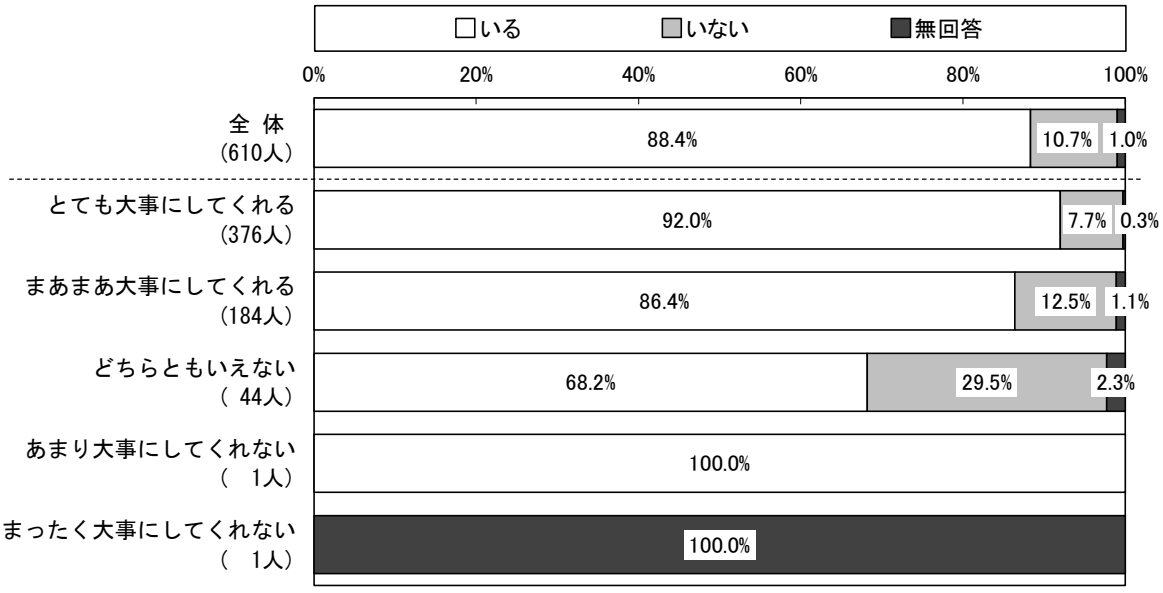
意見の尊重度別にみると、“意見を大事にしてくれる”と回答した方では「いる」が 90%台で高く、“意見を大事にしてくれない”と回答した対象者数は少ないですが、「いる」は低くなっている。

（中学生）意見の尊重度別　困ったときに相談したり、悩みを話せる人の有無



高校生では、意見の尊重度別にみると、“意見を大事にしてくれる”と回答した方では「いる」が 80～90%台で高くなっているが、“どちらともいえない”と回答した方では「いる」が 68.2%で少なく、「いない」が 29.5%と約３割と高くなっている。（「あまり大事にしてくれない」と「まったく大事にしてくれない」は対象者数が少ないため分析より割愛）

（高校生）意見の尊重度別　困ったときに相談したり、悩みを話せる人の有無



⑥（中学生）大人や社会にしてほしいこと（自由記述）

	南風原中	南星中
1．遊び場の整備・増設		
	遊び場を増やしてほしい。 バスケットができる環境を増やしてほしい。 公園やゲームセンターを増やしてほしい。 屋内テニスコートを作ってほしい。	バスケットリングを増やしてほしい。 遊べる施設や公園を増やしてほしい。 自由に遊べる体育館がほしい。
2．施設の増設・整備		
	市民体育館を増やしてほしい。 南風原町に体育館を作ってほしい。 南風原町立図書館を整備してほしい。	プールを作ってほしい。 街灯の増設、特に暗い場所の整備。 トイレの改善。
3．交通・インフラの整備		
	交通手段を増やしてほしい 道路整備。 街灯の増設。	信号の増設。 カーブミラーを増やしてほしい。 街灯の増設。
4．経済的支援・物価の対策		
	物価を下げてほしい。 給食費無料。 税金の減額。	税金を減らしてほしい。 最低賃金の値上げ。 こども一人当たりの給付を行う
5．教育・学校関連		
	部活動の時間延長。 高校受験の難易度を下げてほしい。 校則を緩くしてほしい。	学校の時間を減らしてほしい。 部活動の時間延長。 学校や施設の整備改善。
6．地域活動・行事		
	行事を増やしてほしい。 親子やこどもが楽しめるイベントの増加。	祭りやイベントの増加。 こどもが参加できる行事の増加。
7．その他		
	こどもの意見をもっと聞いてほしい。 ごみのポイ捨て防止。	挨拶を交わす習慣の促進。 ごみ捨て防止。

⑦（高校生）住んでいる町がこどもや若者にとって過ごしやすくなるために（自由記述）

周りや社会にしてほしいこと

1．遊ぶ場所の増加
公園や遊び場を増やしてほしい、スポーツ施設、ボール遊びができる場所など

2．交通改善
バスの増便、交通機関の整備、歩道の改善、モノレールなど

3．ごみ問題・ポイ捨ての改善
ポイ捨てをやめる、ごみ拾い、ごみ箱の設置

4．公共施設の充実
飲食店やカフェ、コンビニ、ショッピングモールなどの増加

5．治安の向上・安全対策
街灯の増加、治安改善、信号機の設置など

6．医療や社会保障の充実
医療費無料化、こどもへの支援、保険関連の充実

7．人々のマナー改善・思いやり
あいさつ、他者への思いやり、人を尊重する

8．環境改善
街を明るく、坂道の減少、道路整備など

9．イベントや交流の場の増加
地域でのイベントや集まりの開催、ボランティア活動

10．その他
無料塾や学習支援、学校の校則改善

あなたができること

1．ごみ拾い・清掃活動
ごみ拾い、掃除、ポイ捨てをしない、街をきれいにする

2．ボランティア活動
募金、ボランティア活動に参加する

3．挨拶・コミュニケーション
挨拶をする、コミュニケーションを取る

4．地域行事・イベントへの参加
行事に参加する、地域の行事を盛り上げる

5．助け合い・手助け
困っている人を助ける、手助けする

6．自分の意見を発信する
意見を出す、考えを伝える

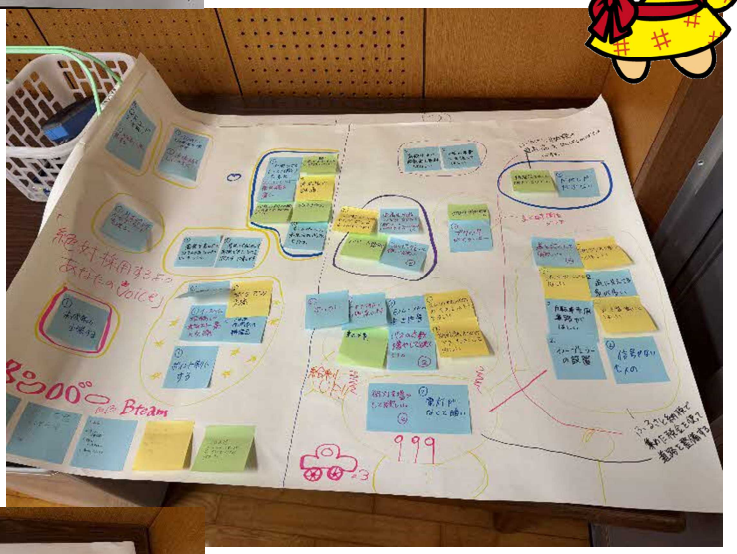
7．思いやり・優しさ
みんなに優しくする、思いやりを持つ

8．交通環境
交通ルールを守る

9．その他
地域活動（草刈りや清掃）、投票、モラル向上など

●南風原高校との意見交換会より

南風原高校の皆さんに、ワークショップで行政に対する意見をいろいろ出していただきました。（令和６年11月８日実施）



ふせんに意見を書きだして、それに対して意見交換していただきました！

●意見交換会で上げられた意見より（抜粋）

意見を社会や街に届けるためにはどうすればいいか

1．オンラインの活用
ＱＲコードですぐ回答できる、ｗｅｂだと回答しやすい、ＳＮＳ(若者に慣れ親しんだもの)を活用する

2．対面での機会の確保
直談判の機会を設ける、意見を言える機会を増やす、未成年の主張をする

3．意見箱の設置
コンビニやショッピングモールに意見箱を設置する

4．匿名性の確保
誰が言ったのかわからないようにする

5．インセンティブ
意見を言った人にポイントを付与する、ふるさと納税で南風原の特産品と交換できる

6．町ＨＰの有効活用と取組の周知
ホームページに意見を書けるページを作る、町の取組を知ることができるポスターやサイトを作って町をより知ってもらう

7．学校での実施
学校の朝の時間に意見を考える時間を作る、定期的に学校でアンケートを行う

8．キャッチコピーの作成
思わず意見を言いたくなるようなキャッチコピーを作成する

9．採用された後のフォロー
意見が伝わって実現したものをポスターに載せてアピールする

住んでいる街に届けたい意見は何か

1．お金の支援
医療費を高校生まで無償化にして欲しい、多子世帯へ給付金を配って欲しい、大学の学費を支援して欲しい

2．交通機関
バスの本数を増やして欲しい、モノレール等の交通機関がもっと欲しい、交通機関無料にして欲しい

3．道路環境
街灯を増やして欲しい、道を広くして欲しい、自転車レーンが欲しい

4．勉強スペースの確保
カフェなど勉強できるスペースを増やして欲しい

5．イベント・遊び場関係
若者が参加しやすい地域イベントを増やして欲しい、中高生が遊べる場所を作ってほしい、ショッピングモールやテーマパークが欲しい

6．学校関係
校則を緩和して欲しい、板書する機会を増やして欲しい、修学旅行を復活して欲しい、文化を伝える機会を増やして欲しい、学校のバスを作って欲しい

7．地域の生活環境
騒音をなんとかして欲しい

8．公園関係
ボール遊びができるようにして欲しい、綺麗にして欲しい、壊れている設備は直して欲しい

(4)若者世代の声

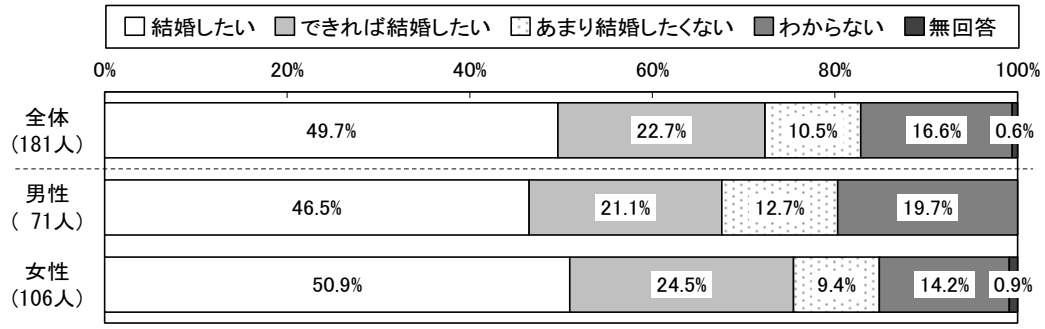
①将来、結婚したいか

「(1)婚姻状況」で、「未婚」と回答した方に、将来、結婚したいか聞いたところ、「結婚したい」が49.7%と高く、約半数を占めている。次いで「できれば結婚したい」が22.7%、「わからない」が16.6%、「あまり結婚したくない」が10.5%となっている。

「結婚したい」と「できれば結婚したい」を合わせた“結婚したい”という回答は72.4%と７割を占めている。

性別にみると、「結婚したい」と「できれば結婚したい」を合わせた“結婚したい”割合は、男性より女性が高くなっている。また、「あまり結婚したくない」と「わからない」という回答は男性の方が高くなっている。

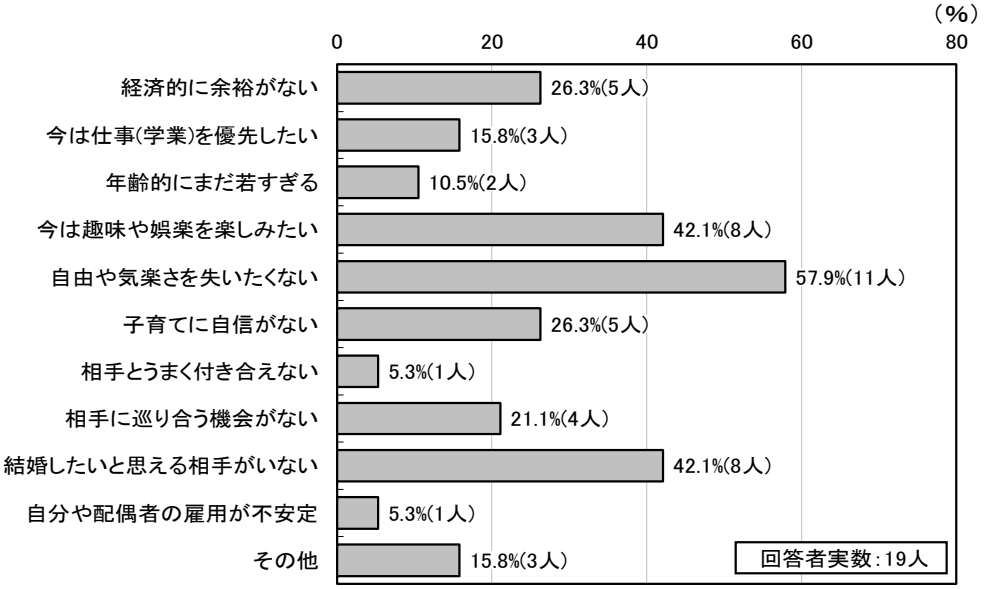
全体・性別　将来、結婚したいか



②あまり結婚したくない方の理由

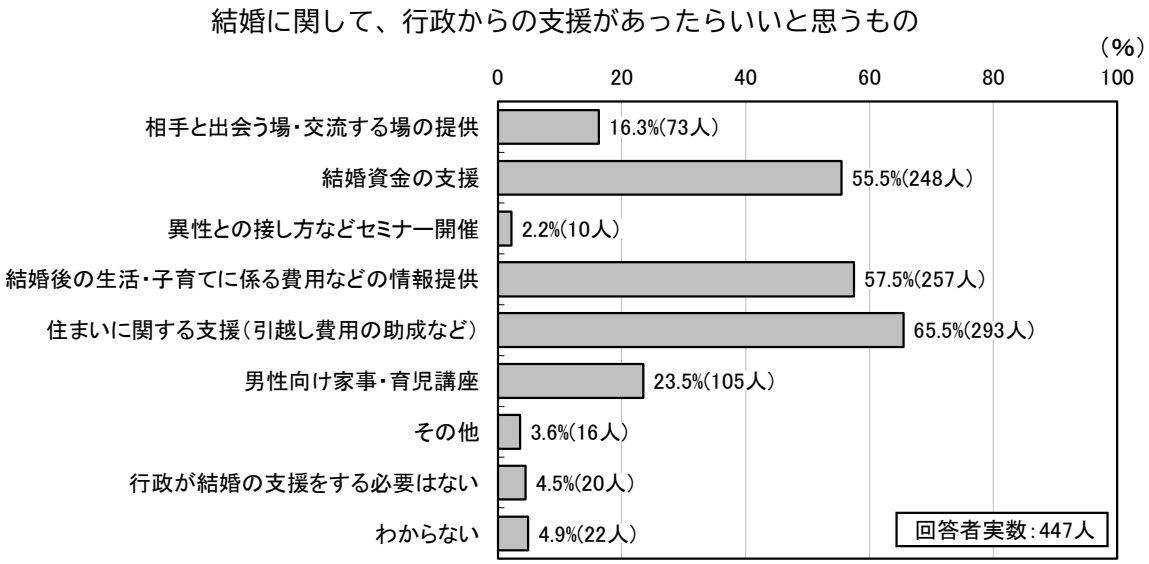
「(3)将来、結婚したいか」で、「あまり結婚したくない」と回答した方の結婚したくない理由については、「自由や気楽さを失いたくない」が57.9%で最も高く、次いで「今は趣味や娯楽を楽しみたい」と「結婚したいと思える相手がいない」がともに42.1%、「経済的に余裕がない」と「子育てに自信がない」がともに26.3%となっている。

結婚したくない理由（あまり結婚したくない方）



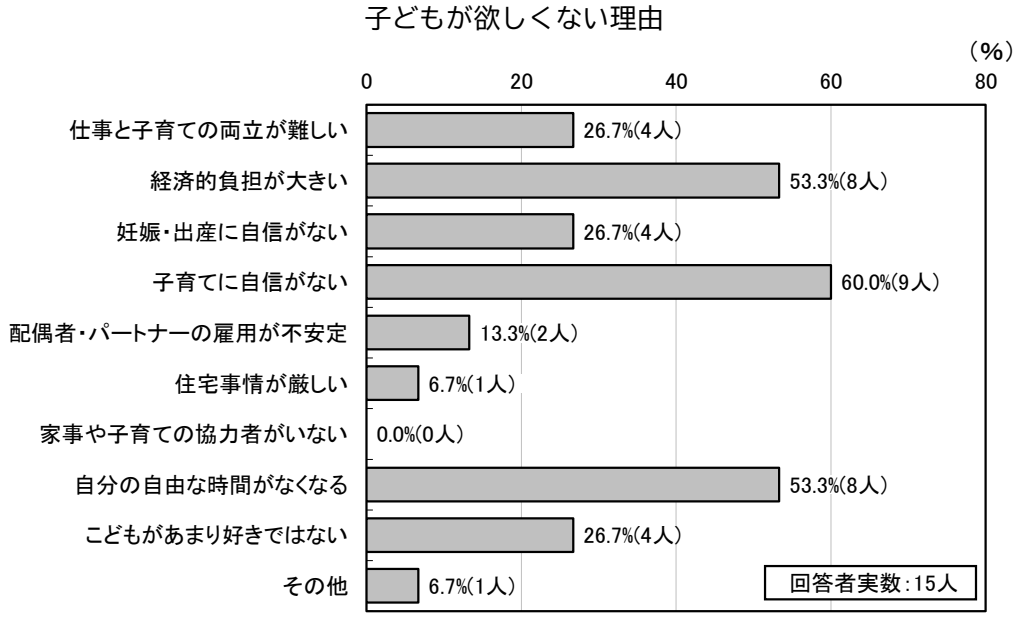
③結婚に関して、行政からの支援があったらいいと思うもの

結婚に関して、支援があったらいいと思うものについては、「住まいに関する支援(引越し費用の助成など)」が 65.5%で高く、次いで「結婚後の生活・子育てに係る費用などの情報提供」が 57.5%、「結婚資金の支援」が 55.5%と 50%台で高くなっている。



④子どもが欲しくない理由

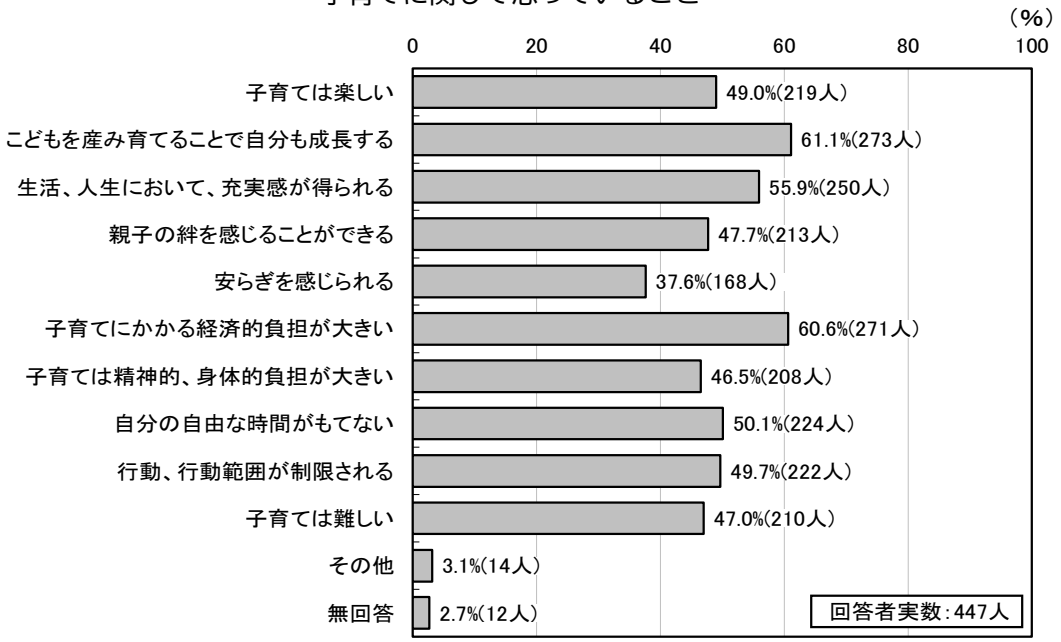
アンケートの中で、「子どもは欲しくない」と回答した方に理由を聞いたところ、「子育てに自信がない」が 60.0%、次いで「経済的負担が大きい」と「自分の自由な時間がなくなる」がともに 53.3%となっている。



⑤子育てに関して思っていること

子育てに関して思っていること、感じていることについては、「こどもを産み育てることで自分も成長する」が 61.1%、「子育てにかかる経済的負担が大きい」が 60.6%と２項目が 60%を超え高く、次いで「生活、人生において、充実感が得られる」が 55.9%、「自分の自由な時間がもてない」が 50.1%、「行動、行動範囲が制限される」が 49.7%、「子育ては楽しい」が 49.0%と続き、50%前後で高い。

子育てに関して思っていること

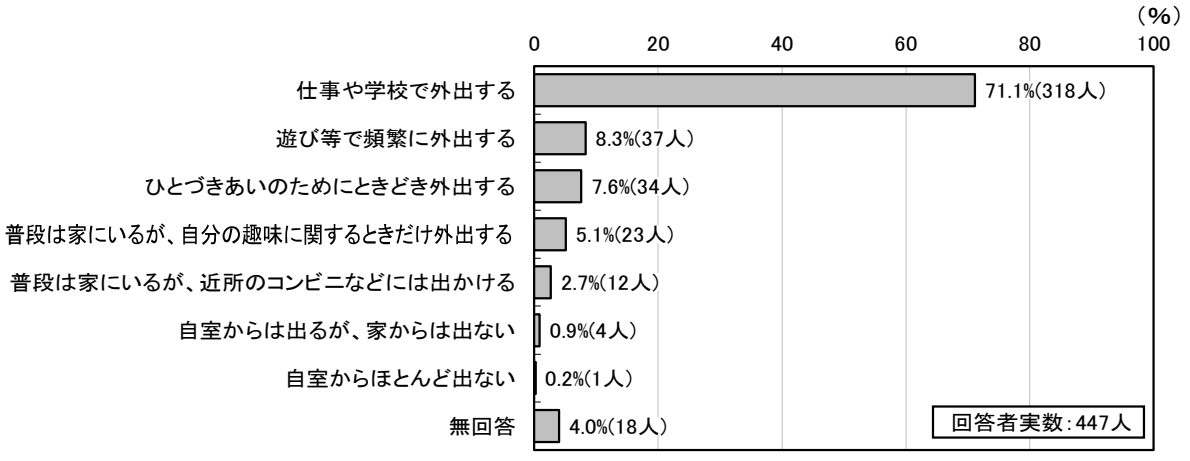


⑥普段どの程度、外出するか

普段どの程度、外出するかについては、「仕事や学校で外出する」が 71.1%とほとんどを占め高くなっている。

また、「普段は家にいるが、自分の趣味に関するときだけ外出する」(5.1%)、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」(2.7%)、「自室からは出るが、家からは出ない」(0.9%)、「自室からほとんど出ない」(0.2%)を合わせた“あまり家からは出ない”と回答した方は 8.9%いる。

普段どの程度、外出するか

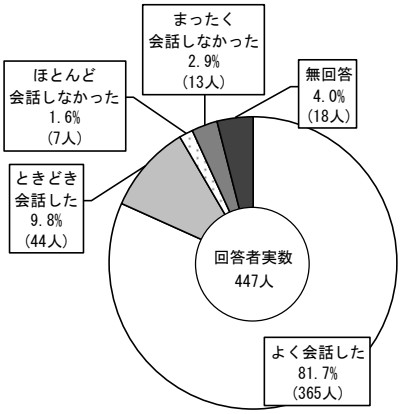


⑦直近の６カ月間の会話（電話やＳＮＳ、メール含む）

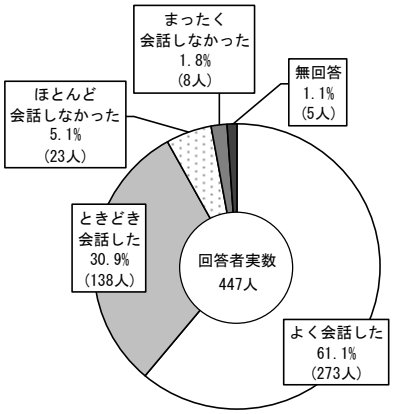
直近の６カ月間に同居の家族と会話したかについては、「よく会話した」が 81.7%と高く、次いで「ときどき会話した」が 9.8%で合わせると、“会話した”は 91.5%となっている。

次に、同居していない家族、友人や知人について聞いたところ、“会話した”は 92.0%、「ほとんど会話しなかった」が 5.1%、「まったく会話しなかった」が 1.8%で合わせると“会話しなかった”が 6.9%となっている。

直近の６カ月間の会話
（同居の家族）



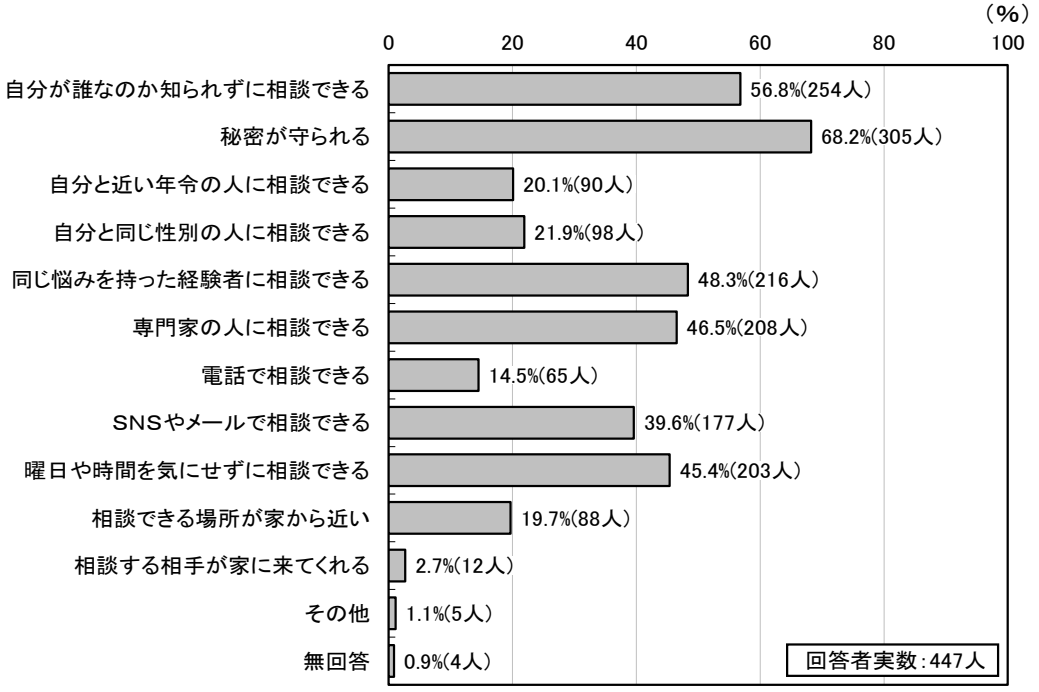
直近の６カ月間の会話
（同居していない家族、友人や知人）



⑧どんな相談窓口なら相談しやすいか

困ったときに、どんな相談窓口なら相談しやすいと思うかについては、「秘密が守られる」が 68.2%、「自分が誰なのか知られずに相談できる」が 56.8%で２項目が 50%を超え高く、次いで「同じ悩みを持った経験者に相談できる」が 48.3%、「専門家の人に相談できる」が 46.5%、「曜日や時間を気にせずに相談できる」が 45.4%、「ＳＮＳやメールで相談できる」が 39.6%となっている。

どんな相談窓口なら相談しやすいか



⑨周りや社会にしてほしいこと、あなたができること（自由回答）

周りや社会にしてほしいこと	あなたができること
1.子育て支援・福祉の充実 ・保育所(園)の補助、給食費の無償化 ・高３まで医療費無料は続けてほしい ・出産、結婚祝い金の支給 ・産後ケア事業の充実	1.地域イベントや活動への参加 ・地域のイベントや行事に参加する ・町のイベントに参加協力すること ・こどもの見守り運動、地域行事 ・地域の行事に参加し、交流を広める
2.遊び場や交流スペースの整備 ・若者が遊べる場所をつくってほしい ・こどもがのびのびと遊べる施設が欲しい ・屋内で遊べる場所、赤ちゃん向け遊具 ・中高生が交流できる場をつくる	2.ボランティア活動 ・支援が必要なこども達のためにできること ・見守り隊の協力 ・地域交流のボランティアなど ・ボランティア活動を行うこと
3.教育・学費支援 ・学費の支援金制度をつくる ・授業料免除（こどもの数に関係なく） ・教育現場で自由な校風を実現する ・進学や就職に関する情報を提供してほしい	3.税金や寄付などの支援 ・納税、街を汚さない ・ふるさと納税 ・寄付 ・税金をきちんと納める
4.交通の整備・利便性の向上 ・公共交通機関の充実(モノレール等) ・バスの運行本数を増やしてほしい ・歩道の整備と街灯の設置 ・道の狭さや混雑の解消	4.挨拶や声かけ ・積極的にあいさつすること ・こどもたちへの声かけ ・笑顔であいさつすること ・いつも機嫌よくいる。
5.地域のつながり・交流促進 ・地域全体でこどもを育てる目を持ってほしい ・地域行事や催し物を増やす ・近所付き合いを活性化させるきっかけづくり ・若者も巻き込むような地域活動	5.意見や要望を発信する ・市町村からのアンケートに答える ・行政に対し意見をしっかり伝える ・意見を言う、選挙へ行く ・こういった場で自分の意見を発信する
6.経済的支援・負担軽減 ・家賃補助や物価上昇対策 ・子育て世代への金銭的サポート ・手取りが低い人向けのお得なサービス ・町民税の減額	6.安全運転や交通ルールの遵守 ・安全運転を心がけます ・こどもの通りが多いので安全に運転する ・交通安全ルールをしっかりと守る ・車の運転に気を付ける
7.治安や安全対策 ・これ以上治安を悪くしないでほしい ・警察の巡回を増やす ・暴走バイクの取り締まり ・街灯を増やして歩いても危なくない環境	7.こどもや若者との交流 ・積極的に若い人と話をする ・子育てイベントへの参加等 ・こどもや若者とコミュニケーション ・近所のこどもに優しくする
8.行政サービスの向上 ・南風原町の公式ＬＩＮＥで情報をもっと発信してほしい ・役場の窓口対応の改善 ・事務的手続きのオンライン化 ・産後ケア施設や保育所(園)の情報提供をわかりやすく	8.地域の清掃・環境美化活動 ・ごみを拾う ・公共の場の利用を増やす ・地域清掃活動に参加する ・地域の治安を良くする